

関西大学北陽高等学校・北陽中学校  
2020 年度学校評価報告書



2021 年 3 月

# 目次

1	本校の概要	1
	(1) 沿革	
	(2) 建学の精神、教育目標	
2	今年度の重点目標における取組計画・内容、自己評価及び今後の改善方策	2
	重点目標①	2
	・取組計画及び評価指標	
	・自己評価	
	重点目標②	3
	・取組計画及び評価指標	
	・自己評価	
	重点目標③	4
	・取組計画及び評価指標	
	・自己評価	
	重点目標④	5
	・取組計画及び評価指標	
	・自己評価	
3	アンケートの実施状況について	6
4	アンケート結果の分析	7
	・中高教員対象（組織・個人）学校評価	
	・高校（保護者対象・生徒対象）学校評価	
	・中学校（保護者対象・生徒対象）学校評価	
5	学校関係者評価委員会からの評価結果	11
	(1) 自己評価の結果を受けて	
	(2) アンケート結果について	
	関西大学学長補佐 人間健康学部 教授 岡田忠克	
6	校長の意見書	13
7	アンケート結果	15

## 1 本校の概要

### (1) 沿革

- ①1922年6月5日に、関西法律学校という専門学校から旧制大学へと昇格をし、関西大学が誕生する。大学昇格の立役者となったのは、当時の財界の大御所といわれた山岡順太郎氏（後の総理事、学長）である。順太郎氏は「知識をいくら集積しても力にはならない、断片的な知識をつなぎ合って活性化させ、社会に応用できて初めて力になる」という「学の実化（学理と実際の調和）」を提唱した。この考え方は、関西大学の学是であり、教育理念として現在も生きている。
- ②それから3年後の1925年、関大北陽の母体となった北陽商業学校が設立される。設立者は山岡倭（やまと）氏であり、順太郎氏の長男である。初代校長の糸島實太郎氏は関西大学出身で北陽を設立するに当たって、順太郎・倭父子の献身的な援助を受けることになる。
- ③1946年に国の戦時非常措置令により工業学校への転換を余儀なくされたため、糸島校長は福武工学校との統合によって北陽の存続を図り、時局の要請に応えようとした。福武平十郎氏（北陽の初代理事長）は糸島校長の「北陽の法灯だけは絶やさないでほしい」という願いを聞き入れ、北陽工業学校と改称。終戦後、工業は商業に復帰し、さらに学制改革により北陽高等学校と改称した。
- ④2008年、学校法人関西大学と学校法人福武学園が合併。関西大学北陽高等学校と改称。2010年には関西大学経営審議会のすすめもあり、関西大学北陽中学校を開設。2021年の4月には関西大学北陽高等学校第14期生、関西大学北陽中学校第12期生の入学式が行われる。

### (2) 建学の精神、教育目標

「知徳体の調和のとれた人間性の育成」を建学の精神とし、生徒の個性や能力を最大限に伸ばし、「自ら考え判断し、責任を持つ」ことを教育目標としている。この目標を実現するため、本校では「知育」「徳育」「体育」を次のような観点で捉えている。

#### ① 知育

基礎学力の充実を図り、自ら考える習慣を培い、自己の生き方を模索する知性と科学的なものの考え方を養う。

#### ② 徳育

生活規範と社会のルールを遵守する大切さを学び、あらゆる学校生活や行事を通して自己の品性を高め、他者と共に生きるために必要な高い徳性を養う。

③ 体育

健康な身体と健全な精神を養うことを通じて、正しい状況判断と積極的かつ適切な行動ができるよう、体力・気力・判断力を育てる。

2 今年度の重点目標における取組計画・内容、自己評価及び今後の改善方策

(1) 重点目標①：基礎的・基本的な「確かな学力」を修得し、進路実現を果たす。

達成状況の目安：(◎)大幅達成・(○)達成・(△)未達成・(×)大幅未達成

取組計画及び評価指標(Plan)	自己評価
<p>ア スローラーナーに対し、高等教育に必要な学力を身に付けさせるために学力の向上を図る。</p> <p>【評価指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「スローラーナーへの対応」の項目で保護者対象アンケート肯定率 60%、生徒対象アンケート肯定率 70%以上</li> <li>・「学力向上」の項目で保護者対象アンケート肯定率 70%、生徒対象アンケート肯定率 70%以上</li> </ul>	<p>【取組状況(Do)】</p> <p>6月までの臨時休校中は、生徒への課題配付、Zoomによる授業、動画配信授業と、可能な限り、生徒の学力保障に力を尽くした。学校再開後は、夏休みを10日間に短縮し、授業時間の確保に努めた。その中で、スローラーナーには、個別指導や、クラウド型学習システムを活用しながら、小テストや課題テストで学力チェックを行った。</p> <p>【達成状況(Check)】</p> <p>&lt;スローラーナー&gt;</p> <p>(高校) 保護者対象：66% (○) 生徒対象：75% (○)</p> <p>(中学校) 保護者対象：73% (◎) 生徒対象：86% (◎)</p> <p>&lt;学力向上&gt;</p> <p>(高校) 保護者対象：75% (○) 生徒対象：78% (○)</p> <p>(中学校) 保護者対象：79% (○) 生徒対象：85% (◎)</p> <p>【今後の改善方策(Action)】</p> <p>高校、中学で実施している英語、数学の習熟度別授業では、生徒の学力に合わせた指導を行うことができ、成果を上げているので、さらなる改善を考えていきたい。一方で、様々な学力の生徒が、切磋琢磨して、学力が向上するようなシステムの構築を検討していきたい。</p>
<p>イ 基礎学力と多様な学びを身に付けた生徒を一人でも多く関西大学ならびに国公立大学へ送り出す。</p> <p>【評価指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関西大学への内部推薦の合格率 90%以上</li> <li>・特進アドバンスクラスから難関国公立大学を中心に、15名の合格</li> </ul>	<p>自己評価</p> <p>【取組状況(Do)】</p> <p>高校1年次から「関西大学への内部推薦は、入試である」という緊張感を生徒に持たせ、指導した。高校2年次の後半からは、内部推薦入試の科目においては、課題を与え、学力向上を図った。国公立大学の志望者をはじめ、進路実現に向けて努力する生徒に対しては、補習を行うなどしてサポートした。</p> <p>【達成状況(Check)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関西大学への内部進学率89% (△)</li> <li>希望者317名中 282名合格</li> <li>・神戸大学2名 北海道大学1名 大阪市立大学1名</li> </ul>

	<p>京都工芸繊維大学 2 名 横浜国立大学 1 名 大阪教育大学 3 名 滋賀大学 1 名 11 名合格 (×)</p>
	<p><b>【今後の改善方策(Action)】</b>          学力向上のための指導だけでなく、多様な学びを身に付けた生徒を一人でも多く大学へ送り出すために、また、大学進学後、ミスマッチが起こらないように、学部の志望理由の明確化を第一に、進路指導を行っていききたい。</p>

(2) 重点目標②：多様な学びを身に付けた生徒の育成

取組計画及び評価指標(Plan)	自己評価
<p>ア iPad を利用した授業や学習支援ソフトを有効に活用し、ICT 教育を推進する。</p> <p><b>【評価指標】</b>          ・ICT を利用した学習支援ソフト(ロイロノート)を活用した研究授業を各教科、年 1 回実施し、ノウハウを蓄積する。</p>	<p><b>【取組状況(Do)】</b>          2016 年～2019 年の 4 年間で、アクティブラーニングをテーマにした研究授業を実施し、各教科の研究授業の成果をまとめた「公開授業の記録」を作成した。2020 年度からは、学習支援ソフト(ロイロノート)を活用した主体的・対話的な学びをテーマに研究授業を実施した。</p> <p><b>【達成状況(Check)】</b>          5 教科、保健体育、情報、音楽で、合計 7 講座の研究授業を行った。(○)</p> <p><b>【今後の改善方策(Action)】</b>          感染症の拡大により GIGA スクール構想の前倒しが決定したことから、本校においても高校のスポーツコースと中学校に 2021 年度から iPad を導入し、中高全生徒がロイロノートを活用できる環境を整える。そして、今まで注目されてきた「何を学ぶか」ではなく「どのように学ぶか」、「何ができるようになるか」を重視した授業を実践していききたい。</p>
<p>イ 「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を行い、質の高い学びを実現する。</p> <p><b>【評価指標】</b>          ・授業評価「生徒参加・対話型の授業」の項目で高校生、中学生アンケート肯定率 90%以上</p>	<p>自己評価</p> <p><b>【取組状況(Do)】</b>          各教科において限られた時間の中で、生徒参加型の興味・関心を高める授業を展開している。その中で、中学 2 年生は、「総合的な学習の時間」において、SDGs を題材にグループによる調べ学習や発表を行った。</p> <p><b>【達成状況(Check)】</b>          &lt;授業評価「生徒参加・対話型の授業」&gt;          ・高校生アンケート：94% (◎)          ・中学生アンケート：93% (◎)</p> <p><b>【今後の改善方策(Action)】</b>          ICT 環境が整う中、中学校で 2021 年度から、高校では 2022 年</p>

	度からの新学習指導要領の実施に向けて、各教科に「主体的・対話的で深い学び」の重要性が浸透しつつある。研究授業や教科会議を通して、議論を重ね、教員一人ひとりが労を惜しまず、常に向上心を持って、時代が求めている新しい授業を追求していきたい。
--	--

(3) 重点目標③:「コミュニケーションの能力を有し、自ら考え判断する力」を養う教育

取組計画及び評価指標 (Plan)	自己評価
<p>ア 英語教育による基礎・基本を徹底し、コミュニケーションツールとしての英語力向上を図る。</p> <p>【評価指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中学3年生の在籍者に占める合格目標を英検準2級10%、3級80%とする。</li> <li>・ 高校3年生の在籍者に占める合格目標を英検2級＝特進アドバンス 65%、特進・文理 15%、準2級＝特進アドバンス 90%、特進・文理 60%とする。</li> </ul>	<p>【取組状況 (Do)】</p> <p>コロナ禍で活動に制約がある中、ICT機器を活用したスピーキング活動を取り入れたり、またオンラインで外国人講師によるライティングの添削を導入するなど、4技能をバランスよく取り入れられるよう指導を工夫している。また、高校3年生を除く全年にネイティブ講師を配置することで、スピーキングやライティングといったアウトプット活動の機会が増えてきている。</p> <p>【達成状況 (Check)】</p> <p>&lt;英検&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中学3年生の合格率 準2級 18% (○) 3級 69% (×)</li> <li>・ 高校3年生の合格率 2級＝特進アドバンス 73% (○) 特進・文理 28% (◎)</li> <li>準2級＝特進アドバンス 95% (○) 特進・文理 75% (◎)</li> </ul> <p>【今後の改善方策 (Action)】</p> <p>中学3年生の3級以外は目標を達成し、授業での取組が少しずつ結果につながってきている。今後もオンライン英会話やネイティブ講師とのTT (ティーム・ティーチング) 授業の充実、そしてICT機器の活用により、個々が主体的に活動に参加する場を増やし、バランスのとれた4技能の育成を図っていきたい。</p>
<p>イ 国際的な視野と問題意識を持ち、国際化が進む社会で活躍できるグローバルリーダーを育成する。</p> <p>【評価指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教員対象&lt;組織面&gt;アンケートの「国際化」項目で肯定率 50%以上</li> </ul>	<p>自己評価</p> <p>【取組状況 (Do)】</p> <p>今年度、分掌組織として国際教育部を立ち上げ、常勤の特任外国人講師1名を新たに採用した。感染症の拡大により、当初の海外研修計画を国内プログラムに変更し、高校でエンパワーメントプログラム、中学校でイングリッシュキャンプを実施した。また、高校1年生の特進コースで、海外とのオンライン英会話を導入し、実践的な英語力を育成した。</p> <p>【達成状況 (Check)】</p> <p>教員対象&lt;組織面&gt;アンケート「国際化」項目：56% (○)</p> <p>【今後の改善方策 (Action)】</p> <p>国際的に活躍できるグローバルリーダーを育成するためには、</p>

	<p>海外研修は必要である。今後の状況は不透明であるが、2022年の3月に、高校でベトナム・シンガポール研修、中学校でオーストラリア研修を計画している。さらに、SDGsをテーマに、授業の中で課題研究を行い、問題解決能力を身に付け、国際貢献できる人材を育成していきたい。</p>
--	--

(4) 重点目標④：大学とともに取り組む「次世代の人材育成」

取組計画及び評価指標 (Plan)	自己評価
<p>ア 大学との連携で、学問の一端にいち早く触れ、知的好奇心を高め、大学での「幅広い学び」を体験する。</p> <p><b>【評価指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「中高大連携授業の実践」の項目で保護者対象、生徒対象アンケート肯定率 80%以上</li> </ul>	<p><b>【取組状況 (Do)】</b></p> <p>感染症の拡大により、計画されていた関西大学との中高大連携プログラムの多くが中止になった。実施されたプログラムは、9月のアドベンチャー施設を利用した体験学習（人間健康学部）、研究室体験プログラム（理工系3学部）、3月の社会学部連携セミナー、スライドとポスター作成に関するスキルアップ講座（教育推進部）の4プログラムであった。</p> <p><b>【達成状況 (Check)】</b></p> <p>&lt;中高大連携授業の実践&gt;</p> <p>（高校）保護者対象アンケート：82%（○）          生徒対象アンケート：83%（○）          （中学校）保護者対象アンケート：78%（×）          生徒対象アンケート：85%（○）</p> <p><b>【今後の改善方策 (Action)】</b></p> <p>中高大の連携プログラムは、2021年度も、様々なプログラムを計画している。感染症の拡大により、規模縮小や中止になる可能性もあるが、関西大学のスケールメリットを生かし、できるだけ多くの魅力あるプログラムを実施していく。プログラム実施後は、実施の見直しも含めて改善し、充実したプログラムにしていきたい。</p>
<p>イ 関西大学への進学をはじめ、一人ひとりの進路実現のためのキャリア教育を実践する。</p> <p><b>【評価指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「進路指導」の項目で高校保護者対象、高校生徒対象アンケート肯定率 70%以上</li> </ul>	<p>自己評価</p> <p><b>【取組状況 (Do)】</b></p> <p>6月までの臨時休校と感染症拡大の影響により、進路指導計画を変更しなければならなかった。関西大学への訪問が中止になり、また、各学部の説明会は、動画配信となったことから、大学を身近に感じる機会がなかった。キャリア教育を実践する中で、主体性の評価が重要視されるようになり、授業や学校行事、部活動などを通して身に付けた能力を、生徒自身が記録に留めるよう働きかけた。</p>

	<p><b>【達成状況(Check)】</b></p> <p>&lt;進路指導&gt;</p> <p>(高校) 保護者対象アンケート：73% (○)</p> <p>生徒対象アンケート：82% (◎)</p> <hr/> <p><b>【今後の改善方策(Action)】</b></p> <p>2021年度は、感染症拡大による制限があるかもしれないが、できるだけ大学に出かける機会を設けていきたい。また、2020年度に、高校2年生が予定していた大学の学部を調べ、調べた内容を発表する機会を設けられなかったため、2021年度の高校3年生の進路指導計画を見直し、前年度に設けられなかった機会を取り戻す形の充実した取組を行うことで、希望の進路実現につなげていきたい。</p>
--	--

### 3 アンケートの実施状況について

関西大学の併設校で構成される「学校法人関西大学自己点検・評価委員会 併設校部門委員会」において、次の①～⑤の観点で併設校共通の質問項目等を設定し学校評価を行うこととした。

- ①「教員対象（組織）のアンケート」における質問項目設定は、併設校としての共通性と独自性の両者を尊重し、併用することとした。共通項目を14項目定めるとともに、併設校それぞれ独自の項目を設定した。
- ②「保護者対象」および「生徒対象」とともにアンケートを行うこととし、併設校間での共通項目をそれぞれ13項目定めるとともに、併設校それぞれ独自の項目を設定した。
- ③上記の3種類の対象者別アンケートの評価項目とその表現は、互いにリンクさせた。
- ④「学校関係者評価」を各併設校において実施するに当たり、学校関係者評価委員会を立ち上げ、ステークホルダーと呼ばれる人たちに建設的な意見を求め、学校教育の充実と発展にご協力をいただいた。

#### ⑤実施日程

- |              |                     |
|--------------|---------------------|
| I 教員対象学校評価   |                     |
| 「個人」および「組織」  | 12月14日（月）～12月21日（月） |
| II 保護者対象学校評価 |                     |
| 全学年          | 1月8日（金）～1月20日（水）    |
| III 生徒対象     |                     |
| 全学年          | 1月8日（金）             |

#### ⑥本報告書作成にあたって



上記のアンケートが実施された後は速やかにデータの集約が行われ、統計資料としてまとめられた。それをもとに、評価委員からそれぞれの立場で分析をし、評価委員から出された意見をまとめた。最終的には、そのまとめの資料を使って、再度分析と改善案についての検討を加え、本報告書を作成するに至った。

#### 4 アンケート結果の分析

##### ◆ 中高教員対象 学校評価<組織面、個人面>

###### ・組織面の自己評価項目の平均

2018年度：2.91      2019年度：2.88      2020年度：2.96

###### ・個人面の自己評価項目の平均

2018年度：3.11      2019年度：3.07      2020年度：3.16

組織面、個人面の自己評価項目の平均は、2017年度に上昇し、その後2年は少しずつ下降していたが、2020年度は、ほぼ2017年度の水準まで回復した。組織面の自己評価と個人面の自己評価の差は、例年0.2ポイントあり、自己評価の高い傾向は、続いている。今後も、会議や先生方との面談で意見を吸い上げ、各課題において、組織的に取り組める学校づくりを進めていかなければならない。

##### (1) 学校運営について<組織面>

###### ①ミドルマネジメントによる組織運営

「主任(学年・分掌・教科)がミドルアップとミドルダウンに努め、組織運営が活性化している。」

2018年度：2.98      2019年度：2.83      2020年度：2.81

###### ②会議の有効性

「職員会議や学年会議、教科会議などが効率よく機能的に運営されている。」

2018年度：2.83      2019年度：2.85      2020年度：2.87

ミドルマネジメントによる組織運営の評価が下降しており、今年度の特徴として、D評価が11.1%と例年になく高い数値となった。一方、会議の有効性については、昨年と比べD評価が低い数値となり僅かであるが上昇している。学校運営において、上記の項目は、組織として重要な項目で3.0の評価を目標としたい。ミドルマネジメントによる組織運営では、主任の任期を一定程度に定め、多くの先生方が主任を経験し、新しい発想を取り入れることで、組織の活性化につなげることも必要と考える。また、明確な学校運営方針を打ち出し、活発な議論を行える環境を作り出し、会議の有効性を高めていきたい。

##### (2) 教育内容、生徒支援について<組織面、個人面>

###### ①スローラーナーへの対応

この項目については、下降傾向であったが、2020年度は、組織面、個人面とも上昇に転じた。スローラーナーへの対応については、中学校では、補習のほか、eラーニングなどを導入し、

生徒一人ひとりの学力に応じた指導を行っている。高校では、高校1年生の英語、数学で習熟度別授業を取り入れ、高校1年生、2年生の特進コースでは、定期考査後の補習も行っている。このような組織的な取組が、教員間にも浸透してきたと考えられる。

## ②中高大連携事業の実践

関西大学との教育連携の質問に対しては、感染症の拡大により、多くの取組が中止、またはオンラインでの実施となったため、組織面の評価が3.13から3.05に低下した。高校では、2019年度から新たに3つの連携セミナーを行うなど充実を図っており、中高大連携事業は、大学併設校としての特色づくりに繋がっている。以前の日常に戻るまでは、少し時間がかかりそうだが、できるだけ中止とせず、可能な範囲で実施し、魅力ある教育活動を行っていききたい。

## (3) 生徒支援について

### ①家庭との連携状況

生徒が、充実した学校生活を送る上で、家庭との連携は不可欠である。家庭との連携状況では、組織面、個人面の自己評価とも、約0.1ポイント上昇した。2020年度は、6月までの臨時休校のため、体力面、精神面の不調を抱える生徒が多くなり、例年以上に家庭との連携が大切となった。また、学力や進路に関して不安を抱く保護者もいたため、丁寧な家庭への連絡も心掛けた。

### ②部活動支援状況、学校行事体制、進路指導体制

部活動支援状況、学校行事体制について、組織面、個人面とも3.0以上、かつ前年より評価が上昇した。このことは、今年度の状況の中で、教員が、計画を変更し、組織的に、そして、積極的に取り組めたことが、要因だと考えられる。進路指導体制についても、同じような傾向で、今までの取組では、生徒の進路実現に影響を与えると判断し、組織的に進路指導計画を見直したことが、評価の上昇につながったと思われる。

## ◆ 高校（保護者対象・生徒対象）学校評価

### (1) 「学校評価重要8項目」の推移グラフより

#### ①学園生活の満足度（学園生活）

保護者：2016年度以降やや下降傾向であったが上昇傾向に推移しつつある。(3.30)

生徒：昨年度(2.95)よりも上昇し、特にA評価が増加している。(3.13)

#### ②私学の独自性（教育方針・教育目標）

保護者：2016年度以降やや下降傾向であったが、以前よりも上昇した。(3.13)

生徒：一時下降傾向にあったが、2018年度より上昇傾向にある。(2.84)

#### ③知育（学力向上における組織的な取組）

保護者：2016年度以降やや下降傾向であったが、以前よりも上昇した。(2.95)

生徒：突出していた2017年度と、ほぼ同じ結果となった。(3.06)

#### ④知育（スローラーナーへの対応）

保護者：2016年度以降やや下降傾向であったが、以前よりも上昇した。(2.78)

生徒：2017年度以降やや下降傾向であったが、上昇した。(3.02)

⑤徳育（社会規範の理解とモラルの醸成）

保護者：大きな変化がなく、3ポイント以上の評価で推移している。(3.10～3.23)

生徒：大きな変化がなく、3ポイント以上の評価で推移している。(3.07～3.18)

⑥進路指導（進路指導体制）

保護者：2016年度以降、大きな変化がない。(2.88～2.96)

生徒：全体的に上昇傾向だが、2017年度と同様突出した。(3.21)

⑦クラブ活動（部活動支援）

保護者：大きな変化がなく、3ポイント以上の評価で推移している。(3.09～3.20)

生徒：上昇傾向にあり、3ポイント以上の評価で推移している。(3.08～3.30)

⑧学校行事（学校行事支援体制）

保護者：やや下降したが、ほとんど変化がなく、3ポイント以上の評価で推移している。  
(3.10～3.18)

生徒：大きな変化がなく、3ポイント以上の評価で推移している。(3.16～3.31)

## （2）分析

上記「学校評価重要8項目」については、ほとんどの項目で評価は上昇している。コロナ禍ではあったが、早い時期からオンライン授業を実施することで授業進度を確保し、シラバスからの遅れもなく展開できたことや、関西大学への内部推薦入試に向けての対策によって進学率上昇に結びついたことなどが影響しているのではないかとと思われる。特にスローラーナーへの対応を含めた知育の評価が上昇していることや、進路指導の項目(生徒)でA評価が高い割合に移行していることが満足度に繋がっていると考えられる。

また、通常の学校生活に加えて、制限がある中で実施している学校行事やクラブ活動においても、十分な感染拡大防止対策を行うことで校内感染が起こっていないことも評価されていると考えられる。ただし、学校行事に関する保護者の評価では、高いながらも唯一下降しており、行事自体が実施できなかつたり、保護者に公開できなかつたりしたことが影響していると思われる。ライブ配信した体育大会のように、今後も方策を検討していく必要があると考える。

### ◆ 中学校（保護者対象・生徒対象）学校評価

#### （1）「学校評価重要8項目」の推移グラフより

##### ①学園生活の満足度

保護者：2017年度を境に2018年度は下降したが、徐々に上昇し本年度は、過去5年間で最高ポイントとなる。

生徒：過去5年間で右肩上がりのポイントとなり、年々上昇傾向が見られ、本年度は過去最高の3.27ポイントとなる。

##### ②私学の独自性（教育方針・教育目標）

保護者：過去5年間でB評価が極端に多く、3ポイントをキープしているが、本年度は過去最高の3.16ポイントとなる。A評価が徐々に上昇してきている。

生徒：2016年度から2020年度まで上昇傾向であり、本年度は、2.98ポイントと過去5年

間で最高ポイントとなる。

③知育（学力向上における組織的な取組）

保護者：2019年度は少し減少したものの、2020年度は、3.03ポイントと過去最高となる。ICT機器の採用やeラーニングの実施などが徐々に評価されてきているものと思われる。

生徒：過去5年間の推移をみると上昇傾向がうかがえる。また、3.22ポイントと最高ポイントとなる。

④知育（スローラーナーへの対応）

保護者：過去5年間の推移をみると上昇傾向がうかがえる。昨年度下降したが、2020年度は、最高ポイントとなり、上昇となる。数年採用してきているeラーニングの活用定着が見られる。

生徒：過去5年間の推移は、上昇傾向である。特に2020年度は、最高ポイントとなり、生徒たちのA評価が初めて50に達した。

⑤徳育（社会規範の理解とモラルの醸成）

保護者：過去5年間の推移をみると、3.0ポイント付近を推移している。2020年度は、若干の上昇が見られ過去最高ポイントであるが、大きな上昇とはなっていない。

生徒：過去5年間で上昇傾向が見られ、2020年度は最高ポイントとなる。学校での継続的な指導が生徒たちには浸透してきているとみられるが、保護者の方への気づきまでには至っていないようである。

⑥進路指導

保護者：A評価が極端に少ないがA、B評価で50%以上で良い結果であった。過去5年間の推移は、右肩上がりであり2020年度は過去最高となっている。

生徒：2016年度から上昇傾向にあり、2019年度、2020年度は3.0ポイント以上である。

⑦部活動支援

保護者：2017年度から2020年度まで上昇傾向である。また、2020年度は、A評価の上昇が目立つ。

生徒：2016年度から年々上昇傾向であり、2020年度は、3.29ポイントと上昇となる。

⑧学校行事指導体制

保護者：過去3ポイント台と上位で安定しており、上昇傾向であったが、2020年度はやや下降した。新型コロナウイルスのため学校行事が大幅に減少し、評価することが難しくなっていると思われる。

生徒：過去5年間を見ると3ポイント付近で少しずつ上昇していたが、本年度は、新型コロナウイルスのため学校行事が減少し、昨年度と同様の結果となった。

## （2）分析

全体として昨年度よりほとんどの項目で、上昇傾向となる。補習指導や学力向上は、保護者が大幅な上昇であるのに対し、生徒は下降気味であり、保護者と生徒間でギャップが見られる。昨年度同様、生徒本人の学習に対する意識があまり感じられないのが、課題と思われる。

中学生の学校の教育方針に対する理解に関する項目が低迷しているが、A評価の人数が年々増

加していることがうかがえる。少しずつではあるが浸透してきているようである。教員が子供の教育のために信念を持って指導することを心がけているが、保護者の教育や学校に対する期待が異なるため、意見の相違も年々多くなりつつある。継続的に学校の教育方針を理解していただき、学校と共に協力していただくことが多いに必要と考える。

進路指導については、生徒と保護者間でギャップが感じられる。生徒は、面談や日々の中で指導を受けているが、保護者に対しては中学3年生での全体進路説明会のみである。三者面談などを利用して個別に話はしているが、生徒と保護者の家庭での会話を期待する。

クラブ活動においては、保護者の方はB評価が非常に多く、逆に生徒たちは、A評価がB評価よりも多い。保護者と生徒間でのとらえ方にギャップが生じている。

## 5 学校関係者評価委員会からの評価結果

### (1) 自己評価の結果を受けて

学校関係者評価委員会では、最初に、教員の自己評価、次に、「学校評価重要8項目」について保護者、生徒対象アンケートの分析を行った。その後、2020年度の重点目標である①基礎的・基本的な「確かな学力」を修得し、進路実現を果たす、②「多様な学び」を身に付けた生徒の育成、③「コミュニケーションの能力を有し、自ら考え判断する力」を養う教育、④大学とともに取り組む「次世代の人材育成」について、取組状況、達成状況、今後の改善方策について、意見交換を行った。重点目標は、2019年度と同一としたが、評価指標と目標値は見直しを行った。

評価委員会では、アンケート結果をもとに、感染症の拡大による教育活動への影響と今後について、意見交換を行った。6月までの臨時休校、学校再開後は、学校行事やクラブの大会が中止されるなか、「学校評価重要8項目」の分析では、ほとんどの項目で上昇している。これは、2020年度の感染症拡大は、想定を超えるものであり、学校としては、課題配付、Zoomによる授業、動画配信授業と、可能な限り、生徒の学力保障に力を尽くしたことが、このような結果に繋がったのではないかと、という意見が出された。教員の組織、個人の自己評価においても、昨年度より上昇しており、教員も当初の計画を変更し、できる範囲で最大限の効果が出るように取り組んだことがうかがえる。

一方で、改善点の指摘もあった。一点目は、臨時休校中の課題やオンライン授業で、質問の機会がなかったことが指摘された。このことは、双方向のZoomによる授業が限られたクラスでの実施となったこと、学習支援ソフト（ロイロノート）の効果的な活用ができなかったこと、中学校と高校のスポーツコースにiPadを導入していなかったことが、理由として挙げられる。この指摘においては、中高全クラスでZoomの授業を実施できる環境を整えており、2021年度からは、中学校と高校のスポーツコースにiPadを導入することが決定している。

二点目は、感染症の拡大が収束した後、台風や豪雨など大きな災害も予想されるので、スキルアップのため、定期的にオンライン授業を行うことも大切だという意見が出された。また、オンライン授業は、対面授業に比べ、「いつでも、どこでも」という良さはあるが、教員の教材作成への負担が大きく、課題をどうするかなど、検討しなければならない点も多いという指摘があった。

三点目は、「学校行事に対し学校と保護者が協力できていると思われるか」という項目の評価は、前年に比べ中高とも下降した点について意見が出された。体育祭は、オンラインによる発信があったが、保護者からはライブで観戦したいとの意見があり、行事によっては、高校3年生や

中学3年生の保護者の入場を可とするなど、人数制限をして、認めてもらえないかという要望があった。

2020年度の重点目標の「グローバルリーダーを育成する」という取組の中で、SDGsをテーマに問題解決能力を身に付け、国際貢献できる人材の育成を目指している。委員からは、関西大学が取り組んでいる「関西SDGsプラットフォームプログラム」への参加の提案があり、関西大学のスケールメリットを生かした取組になるように積極的に参加していきたい。

## (2) アンケート結果について

学校関係者評価委員として2020年度の評価について、2020年度の学校教育計画、中高(教員対象)学校評価、高等学校(保護者対象・生徒対象)学校評価、中学校(保護者対象・生徒対象)学校評価の結果、ならびに本委員会での議論をもとに、以下、意見を述べる。高等学校・中学校の教職員におかれては、今後の検討課題としていただきたい。

重点目標である「1. 基礎的な・基本的な『確かな学力』を修得し、進路実現を果たす」では、これまでもスローラーナーに対する高等教育に必要な学力の修得支援に継続的に取り組まれており、評価指標においても保護者(60%)については、高校66%、中学校77%、また生徒(70%)の肯定率についても、高校75%、中学校86%と指標を大きく上回っており、成果が見られている。2020年度の新指標である「学力向上」においても目標指標を達成している。これまでの学校全体の取組が功を奏しており、引き続き教育内容の改善に向けて努力されたい。関西大学への内部進学については、目標(90%以上)にやや届かなかったものの、アドバンスクラスからの上位国公立への進学は、成果も現れているところであるが、学校全体の学力の底上げが今後の課題である。

「2. 多様な学びを身に付けた生徒の育成」については、iPadを利用した「ロイロノート」等、ICTを活用した教育の展開がなされている。新たな評価指標として研究授業を各教科、年1回実施し、ノウハウを蓄積するとしているが、5教科、保健体育、情報、音楽の合計8講座の研究授業を実施し、教員も文科省のギガスクール構想に対応したスキル向上にむけた研鑽を続けていることは、評価される場所である。引き続き努力されたい。

「生徒参加・対話型の授業」を新指標として設定しアンケートを実施しておられるが、高校、中学校いずれも90%を上回り、生徒から評価を受けている。今後、アクティブラーニング、PBL等の課題解決型の授業がますます重要になってくるが、教員のスキル向上が必須である。個々の教員の能力によって授業実施にばらつきが出ないように、研究授業等でグッドプラクティスを共有し引き続き努力されたい。

「3. 『コミュニケーション能力を有し、自ら考え判断する力』を養う教育」では、具体的施策として、英語教育の基礎・基本の徹底と実践的能力の育成を掲げている。評価指標である英検合格率については、高校3年生において英検2級、準2級とも大幅に目標を達成しており、これまでの取組が成果として現れており、評価できる。国際化・国際理解に向けて国際教育部を立ち上げ、特任の外国人講師を任用し、オンライン英会話の導入、イングリッシュキャンプの実施、エンパワーメントプログラムを実施している。これらの意欲的な取組が、先の英検合格率の向上にも寄与していると考えられ、引き続き英語を使う環境整備に務めていただきたい。

「4. 大学とともに取り組む『次世代の人材育成』」では、このコロナ禍で関西大学に来学する

機会もなく、動画配信等に対応しているものの、中大連携プログラム、高大連携プログラム、高大連携セミナー「関大の知にふれる」、卒業生のお話を聞く等の取り組みは十分な効果が期待できない状況である。一刻も早いプログラムの再開が望まれるところである。毎回の指摘事項となるが、関西大学で何を学ぶのか、学びたいかの意識づけや動機づけは、大学進学後の学びや進路に大きく影響するものである。生徒本人の関心や将来の方向性、実際の学びの内容の間にミスマッチが起らないよう、引き続き生徒個別のニーズの把握に努めていただきたい。

中高(教員対象)学校評価では、おおむね例年通りでいくつかの項目について組織と個人の自己評価の差がみられるが、安定した評価となっている。

学校運営については、ミドルマネジメントによる組織運営についてはやや下降傾向、会議の有効性については上向きとなっている。主任任期を取り決めるなど、多くの教員にマネジメントスキルの向上に向けた、多面的な経験をしていただくことで、新しい発想や多角的な分析ができるようになることが期待される。さらに管理職と教員、教員同士の連携においてさらにコミュニケーションが活性化されることを期待したい。教育内容については、スローラーナーへの対応についてのポイントが例年に引き続き上昇している。中高大連携事業の実践については、前述したようにコロナ禍によって組織面の評価が下がる傾向が見られたが、今後の状況の好転によってさらに連携を進められることを期待したい。

(関西大学学長補佐/人間健康学部 教授 岡田 忠克)

#### 2020年度 関西大学北陽高等学校・中学校 学校関係者評価委員会委員一覧

No.	役職	氏名	任期	備考
1	委員長	田中敦夫	2020. 4. 1～2021. 3. 31	学校長
2	副委員長	吉村 聡	2020. 4. 1～2021. 3. 31	教頭 (高等学校)
3		川崎安章	2020. 4. 1～2021. 3. 31	教頭 (中学校)
4		岡田忠克	2020. 4. 1～2021. 3. 31	関西大学学長補佐 人間健康学部 教授
5		正井省吾	2020. 4. 1～2021. 3. 31	関西大学北陽高等学校・中学校 PTA 会長
6		貫戸隆広	2020. 4. 1～2021. 3. 31	関西大学北陽高等学校・中学校 PTA 副会長

## 6 校長の意見書

関西大学北陽高等学校・北陽中学校  
校長 田中 敦夫

重点目標①基礎的・基本的な「確かな学力」を修得し、進路実現を果たす、②「多様な学び」を身に付けた生徒の育成、③「コミュニケーションの能力を有し、自ら考え判断する力」を養う教育、④大学とともに取り組む「次世代の人材育成」については、既に述べている。ここでは、前年度の外部評価委員からの指摘と今年度の学校評価について記載することとする。

(1) 貴校は評価指標として数値を掲げている取組計画が比較的多いが、目標値の設定が適切かどうか、あるいはPDCAサイクルによる自己評価自体を見直す必要がある。

今年度の重点目標①～④は継続し、昨年度までに完了した取組を終了し、新たな取組を設定した。また、評価指標と目標値の見直しを行い、変更した。具体的には、以下の通りである。

・新たな取組計画

重点目標③のイ

国際的な視野と問題意識を持ち、国際化が進む社会で活躍できるグローバルリーダーを育成する

重点目標④のイ

関西大学への進学をはじめ一人ひとりの進路実現のためのキャリア教育を実践する

・評価指標と目標値の見直し

重点目標①のアの評価指標（追加）

「学力向上」の項目で保護者対象アンケート、生徒対象アンケート 肯定率70%以上

重点目標②のイの評価指標（目標値引上げ）

授業評価「生徒参加・対話型の授業」の項目で高校生、中学生アンケート 肯定率90%以上

(2) <スローラーナーについて>

①「北陽中学出身者の内部進学率も上昇は見られなかった。来年度からの中学校の指導目標を『先取りから定着へ』にスローラーナーの底上げを図っていく」という改善方策は、貴校が関西大学の併設校としての正念場を迎えていることを意味しているといえよう。

②「スローラーナーへの対応」について、教育効果の成否についての一層の検証が不可欠と考える。

③「スローラーナーへの対応」について、多忙化の中でどのようにその体制を充実させるか、難問であるが組織として取組を深化させていただきたい。

④「スローラーナーへの対応」に関するアンケート結果では、教員、保護者の肯定的な評価割合が低くなっており、原因を究明し、適切な対策を講じる必要がある。

取組状況と今後の改善方策については、P2を参照願いたい。

スローラーナーへの対応について、教員の学校評価アンケートでは、組織面、個人面の評価とも昨年に比べ上昇している（P8参照）。また、高校、中学校とも、保護者、生徒対象アンケートで、上昇している。特に、中学校は、直近5年間の傾向は右肩上がりである（図表グラフ①～④参照）。スローラーナーへの組織的な取組が、教員に浸透し、少しずつ成果が上がっていると考えられ、保護者もそのことを評価し上昇したと考えられる。それを示す一つの指標として、北陽中学出身者の内部進学率が、73.6%から80.4%に改善されたことが上げられる。

(3)「国公立大学」への合格者数に係る数値目標を設定していることについて、関西大学との比較において優位性が認められるとすれば、そうしたことをデータで挙証することも必要である。また、「多様な学び」の成就を強調する方策として、専門分野の異なる学部・学科への進学分布の存在を示すことも大切である。

併設校として、優秀な人材を一人でも多く関西大学に送り出さなければならない。その中で、高校は、コース制をとり、進路目標として、「生徒一人ひとりの希望が叶う進路実現」を掲げて



いる。この方針のもと、国公立大学にチャレンジする者には、積極的にサポートしている（2021年度入試の結果は、P2参照）。

また、関西大学への内部進学合格者数は、以下のようになり、専門分野の異なる学部・学科へ進学している。

法学部 31名 文学部 28名 経済学部 25名 商学部 29名 社会学部 32名 政策創造学部 24名 外国語学部 3名 人間健康学部 13名 総合情報学部 26名 社会安全学部 19名 システム理工学部 13名 環境都市工学部 5名 化学生命工学部 5名

なお、関西大学以外に、関西学院大学 6名、同志社大学 5名、立命館大学 2名、近畿大学 16名、京都産業大学 11名が合格している。

（４）ICT教育を推進したことによりどのような教育的な成果をあげているのか、教員や生徒がICT教育の現状に満足しているのか等についての評価が見えない。

指摘の通り、ICT教育の推進について、アンケートの評価項目が設定されていない。ICT教育の推進は、今後の教育において必須となるため、評価項目の設定を検討したい。

## 7 アンケート結果

図表

- 【グラフ①】 保護者（高校）対象 「学校評価重要8項目」の推移（2016年～2020年）
- 【グラフ②】 高校生対象 「学校評価重要8項目」の推移（2016年～2020年）
- 【グラフ③】 保護者（中学校）対象 「学校評価重要8項目」の推移（2016年～2020年）
- 【グラフ④】 中学生対象 「学校評価重要8項目」の推移（2016年～2020年）
- 【グラフ⑤】 「学校生活の満足度」の推移（2016年～2020年）
- 【グラフ⑥】 「教育方針・教育目標」と「併設校としての使命」の推移（2016年～2020年）
- 【グラフ⑦】 「学力向上の組織的な取組」と「スローラーナーへの対応」の推移（2016年～2020年）
- 【グラフ⑧】 「保護者との連携」（学習と生徒指導）の推移（2016年～2020年）
- 【グラフ⑨】 「社会規範の理解」と「生徒指導方針の一貫性」の推移（2016年～2020年）
- 【グラフ⑩】 「進路指導体制」の推移（2016年～2020年）
- 【グラフ⑪】 「部活動支援」と「学校行事指導体制」の推移（2016年～2020年）

数表

資料1ー1	2020年度	学校評価	教員対象アンケート	〈組織〉
資料1ー2	2020年度	学校評価	教員対象アンケート	〈個人〉
資料1ー3	2020年度	学校評価	教員対象アンケート	—「組織」の過去4ヵ年比較—
資料1ー4	2020年度	学校評価	教員対象アンケート	—「個人」の過去4ヵ年比較—
資料2①	2020年度	学校評価	保護者アンケート結果	—高中別—
資料2ー1	2020年度	学校評価	保護者対象アンケート結果（高校）	—過去4ヵ年比較—
資料2ー2	2020年度	学校評価	保護者対象アンケート結果（中学校）	—過去4ヵ年比較—
資料2②	2020年度	学校評価	生徒対象アンケート結果	—高中別—

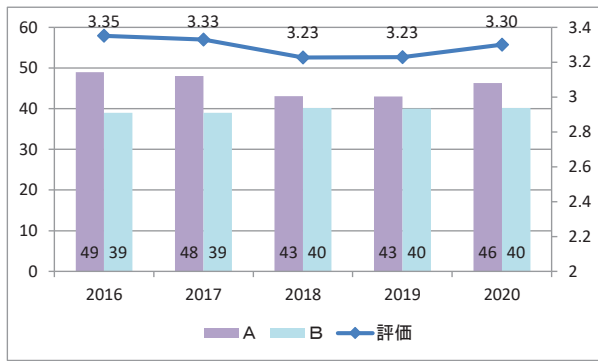
- 資料 2—3 2020 年度 学校評価 生徒対象アンケート結果（高校） —過去3ヵ年比較—
- 資料 2—4 2020 年度 学校評価 生徒対象アンケート結果（中学校） —過去3ヵ年比較—
- 資料 3—1 2020 年度 授業評価分析資料（高校・中学校別）
- 資料 3—2 2020 年度 授業評価分析資料（教科別）

以 上

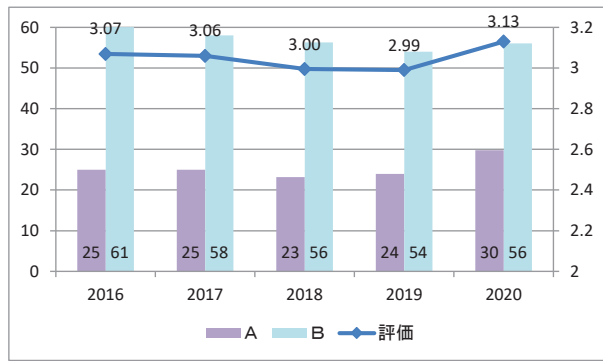
保護者(高校)対象「学校評価重要8項目」の推移 (2016年～2020年)

【グラフ①】

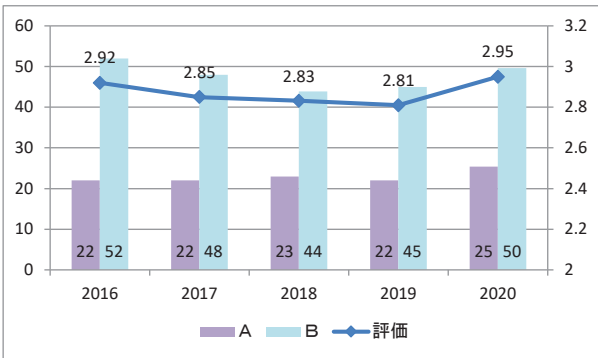
1 ご子女を本校に入学させて良かったと思えますか



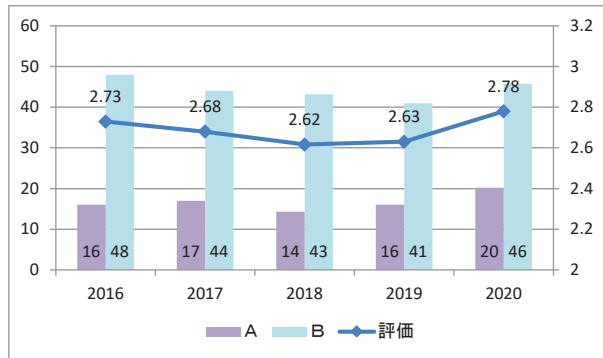
2 本校の教育方針を理解されていますか



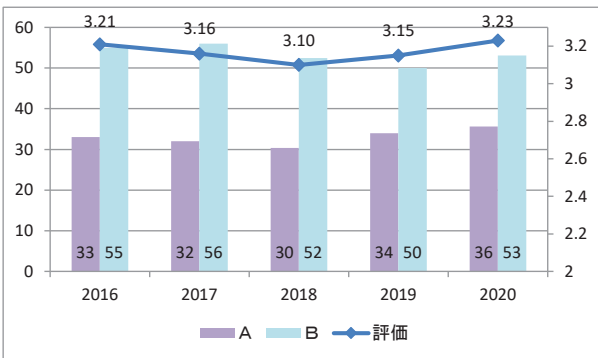
3 学力向上のために組織的な取組を行っていると思えますか



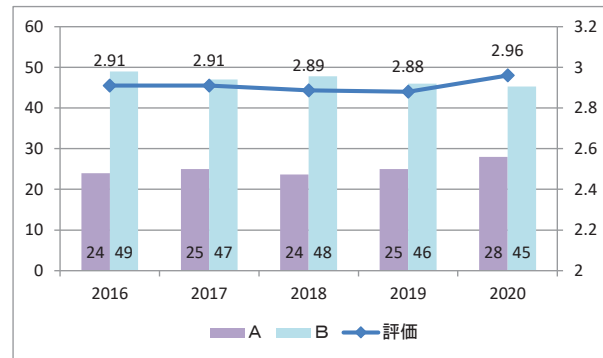
4 補習授業の取組が十分に行われていると思えますか



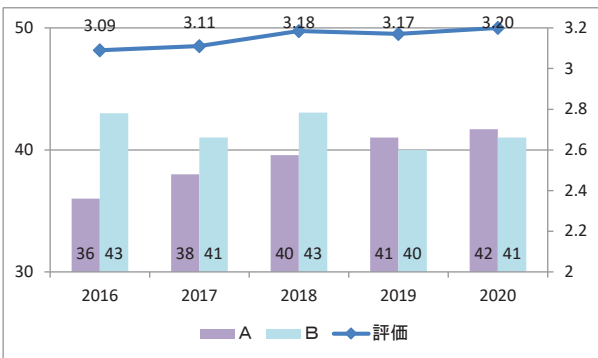
5 マナーやモラルを向上させる取組がされていると思えますか



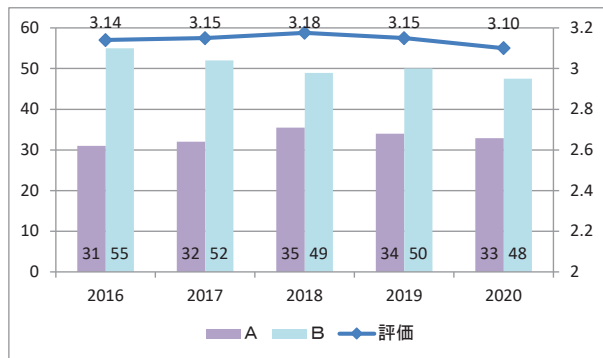
6 きめ細かな進路指導が行われていると思えますか



7 クラブ活動を学校全体で支援していると思えますか



8 学校行事に対し学校と保護者が協力できていると思えますか

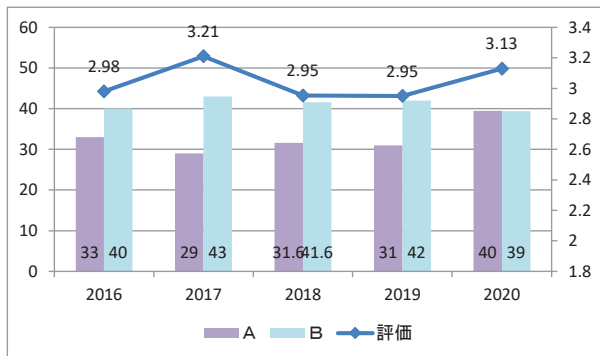


※縦軸について、右側は評価平均値、左側はA・Bの割合(%)を示す。

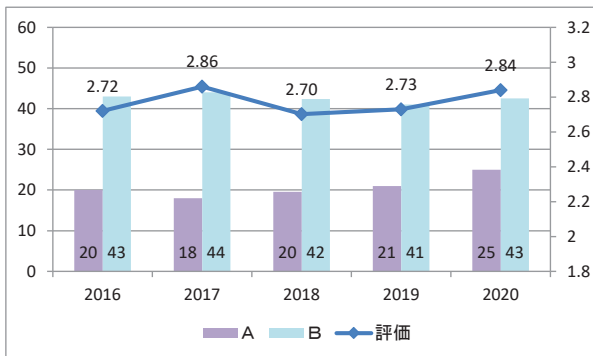
評価平均値は、アンケート回答のA(そう思う)を4、B(どちらかといえばそう思う)を3、C(どちらかといえばそう思わない)を2、D(そう思わない)を1として、以下の式により算出したもの。

$$[4 \times (\text{Aの回答数}) + 3 \times (\text{Bの回答数}) + 2 \times (\text{Cの回答数}) + 1 \times (\text{Dの回答数})] \div (\text{回答総数}) = \text{評価平均値}$$

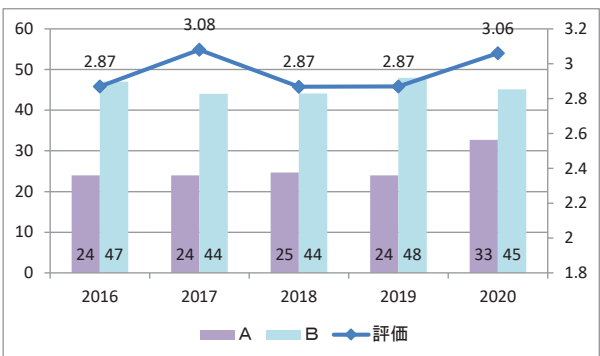
1 この学校に入学して良かったですか



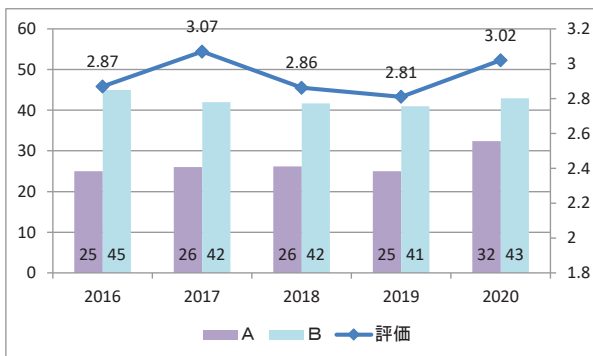
2 学校の教育方針を理解していますか



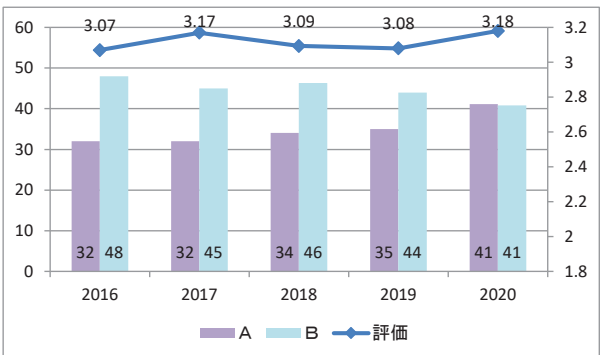
3 自分の学力は向上していると思いますか



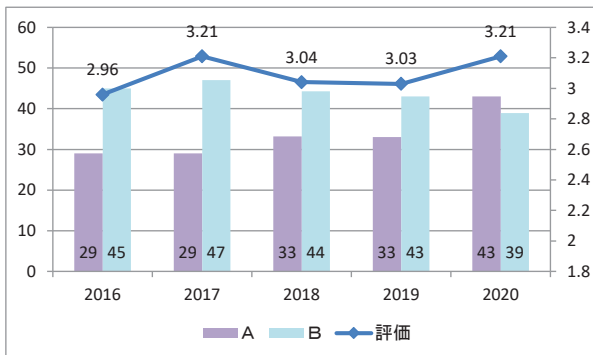
4 補習授業等、適切なフォローがありますか



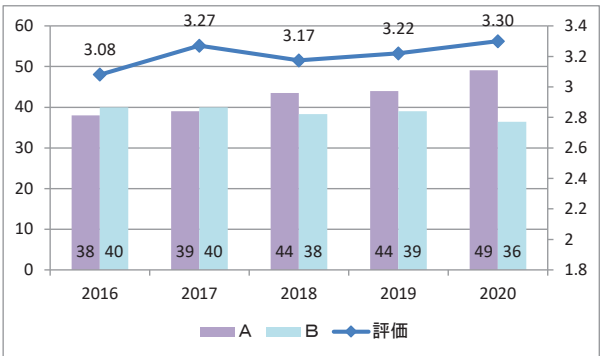
5 ルールやマナーについて指導を受けていますか



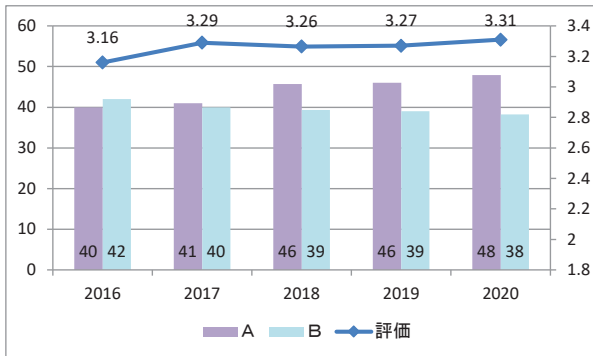
6 きめ細かな進路指導が行われていると感じますか



7 クラブ活動を学校全体で支援していると思いますか



8 学校行事に対して学校は支援していると思いますか

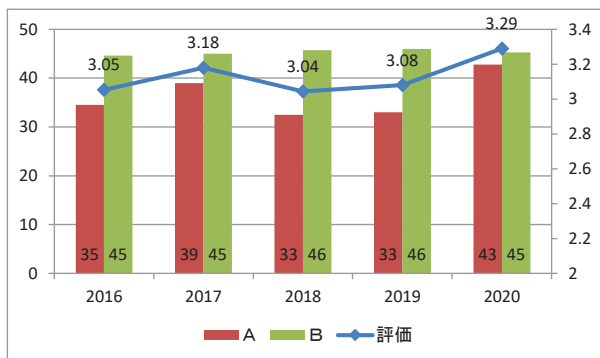


※縦軸について、右側は評価平均値、左側はA・Bの割合(%)を示す。

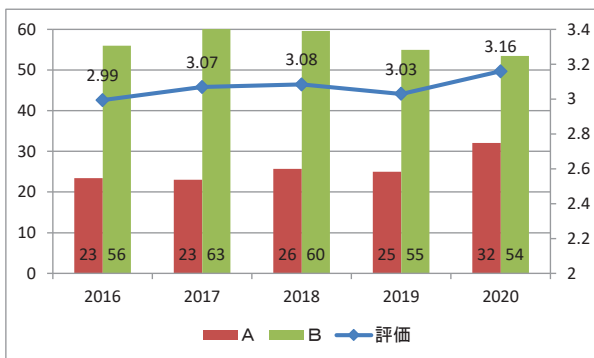
評価平均値は、アンケート回答のA(そう思う)を4、B(どちらかといえばそう思う)を3、C(どちらかといえばそう思わない)を2、D(そう思わない)を1として、以下の式により算出したもの。

$$[4 \times (\text{Aの回答数}) + 3 \times (\text{Bの回答数}) + 2 \times (\text{Cの回答数}) + 1 \times (\text{Dの回答数})] \div (\text{回答総数}) = \text{評価平均値}$$

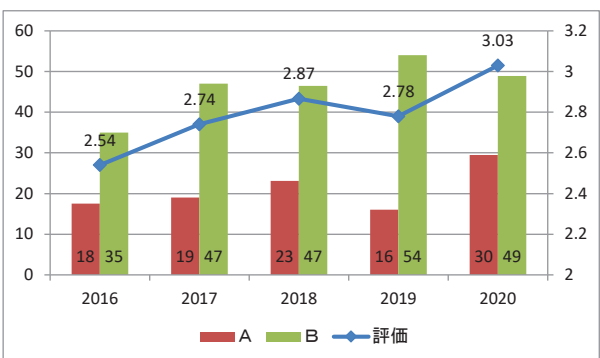
1 ご子女を本校に入学させて良かったと思えますか



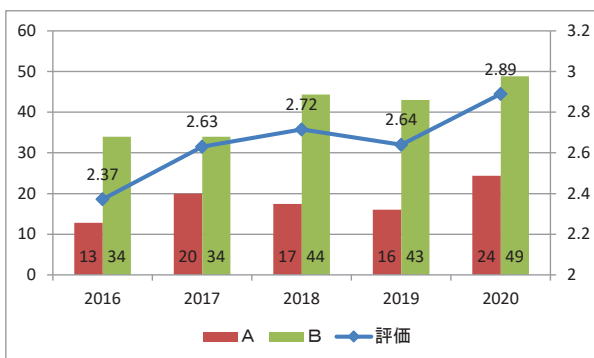
2 本校の教育方針を理解されていますか



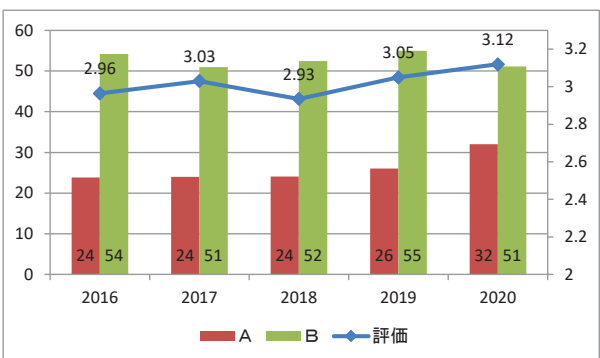
3 学力向上のために組織的な取組を行っていると思えますか



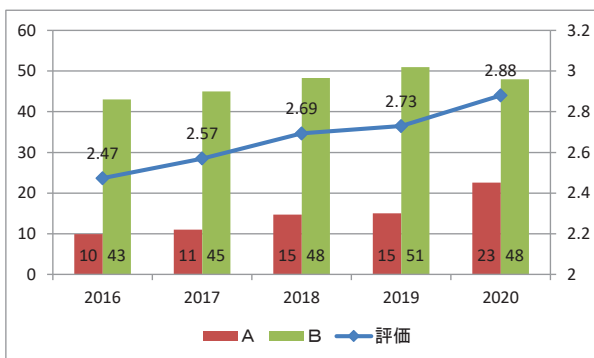
4 補習授業の取組が十分に行われていると思えますか



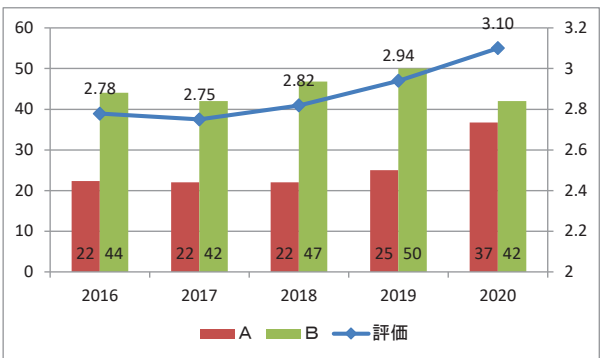
5 マナーやモラルを向上させる取組がされていると思えますか



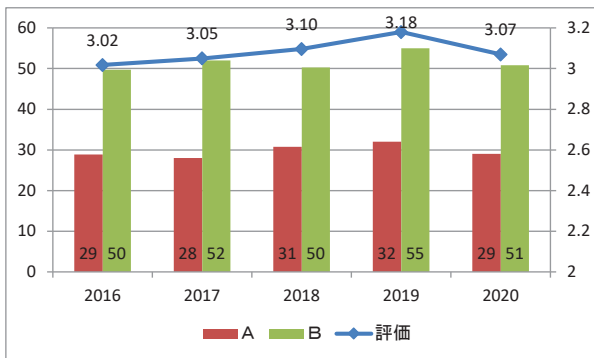
6 きめ細かな進路指導が行われていると思えますか



7 クラブ活動を学校全体で支援していると思えますか



8 学校行事に対し学校と保護者が協力できていると思えますか



※縦軸について、右側は評価平均値、左側はA・Bの割合(%)を示す。

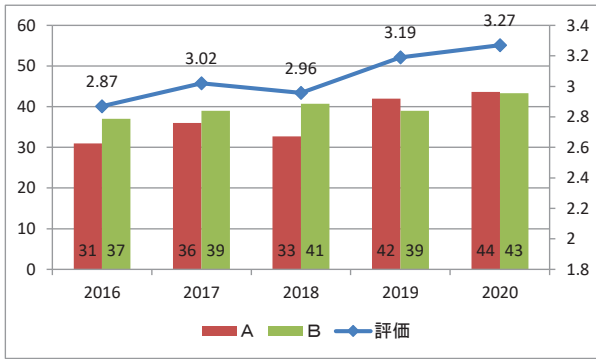
評価平均値は、アンケート回答のA(そう思う)を4、B(どちらかといえばそう思う)を3、C(どちらかといえばそう思わない)を2、D(そう思わない)を1として、以下の式により算出したもの。

$$[4 \times (\text{Aの回答数}) + 3 \times (\text{Bの回答数}) + 2 \times (\text{Cの回答数}) + 1 \times (\text{Dの回答数})] \div (\text{回答総数}) = \text{評価平均値}$$

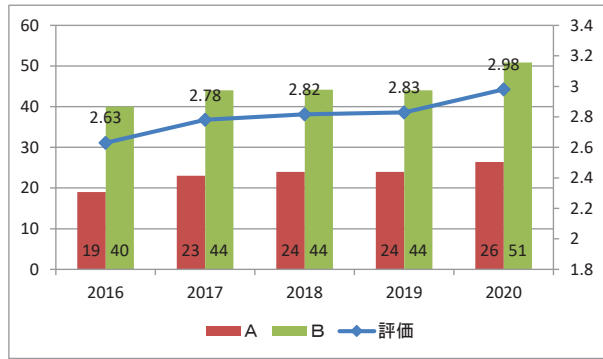
中学生対象「学校評価重要8項目」の推移（2016年～2020年）

【グラフ④】

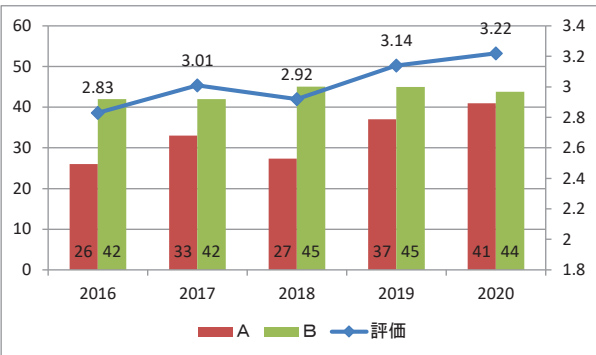
1 この学校に入学して良かったですか



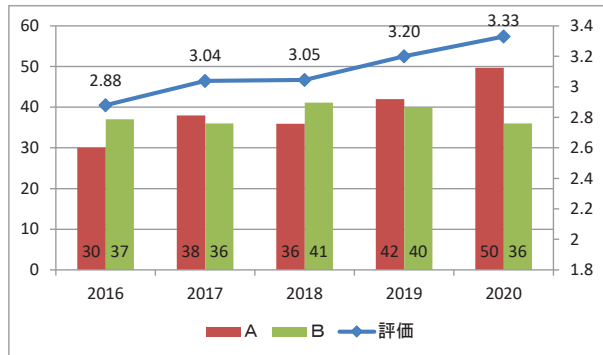
2 学校の教育方針を理解していますか



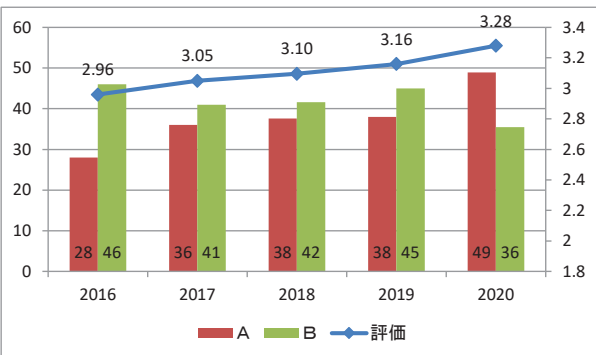
3 自分の学力は向上していると思いますか



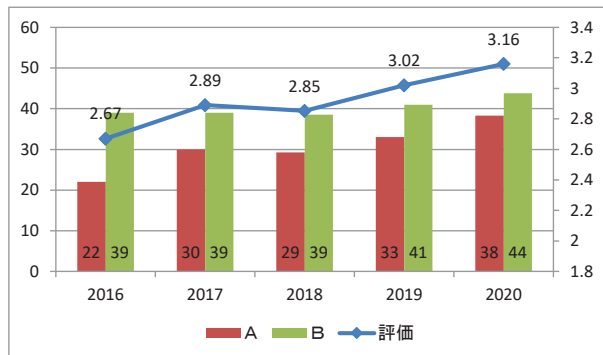
4 補習授業等、適切なフォローがありますか



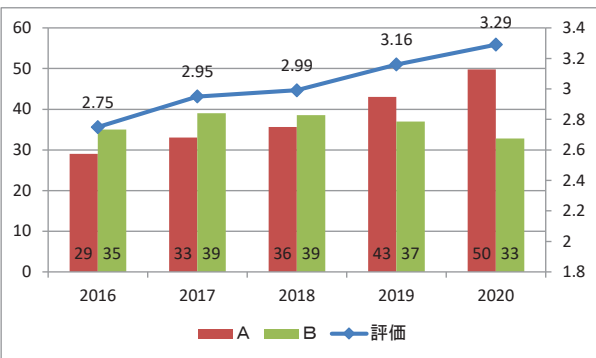
5 ルールやマナーについて指導を受けていますか



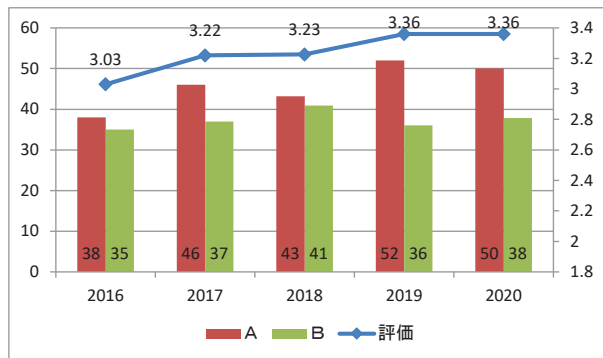
6 きめ細かな進路指導が行われていると感じますか



7 クラブ活動を学校全体で支援していると思いますか



8 学校行事に対して学校は支援していると思いますか



※縦軸について、右側は評価平均値、左側はA・Bの割合(%)を示す。

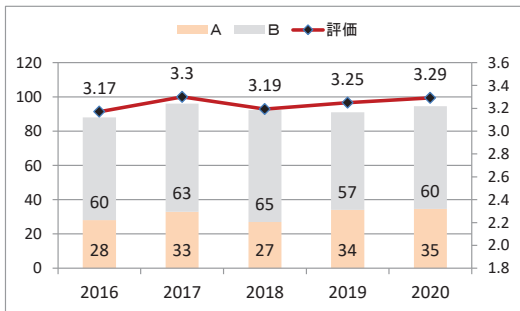
評価平均値は、アンケート回答のA(そう思う)を4、B(どちらかといえばそう思う)を3、C(どちらかといえばそう思わない)を2、D(そう思わない)を1として、以下の式により算出したもの。

$$[4 \times (\text{Aの回答数}) + 3 \times (\text{Bの回答数}) + 2 \times (\text{Cの回答数}) + 1 \times (\text{Dの回答数})] \div (\text{回答総数}) = \text{評価平均値}$$

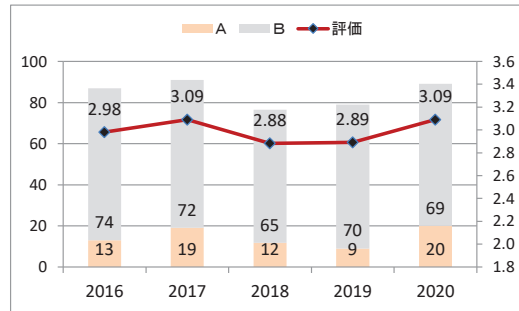
「学校生活の満足度」の推移（2016年～2020年）

【グラフ⑤】

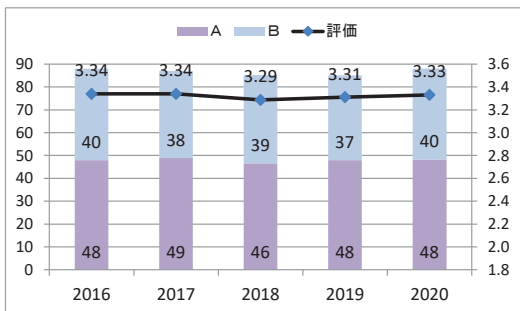
1 本校の生徒は充実した学校生活を楽しんでいる(教員組織)



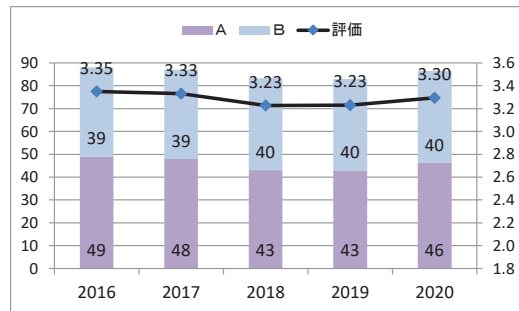
2 本校に入学した生徒・保護者の満足度は高い(教員組織)



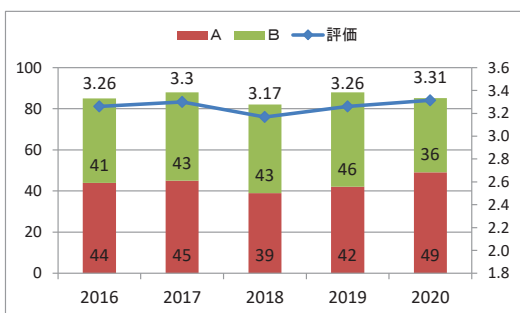
3 生き生きとした学校生活を送っているか(高校保護者対象)



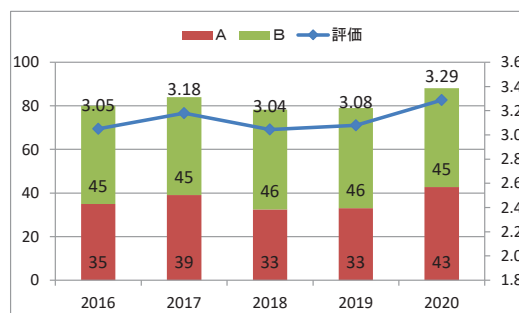
4 本校に入学させて良かったと思われるか(高校保護者対象)



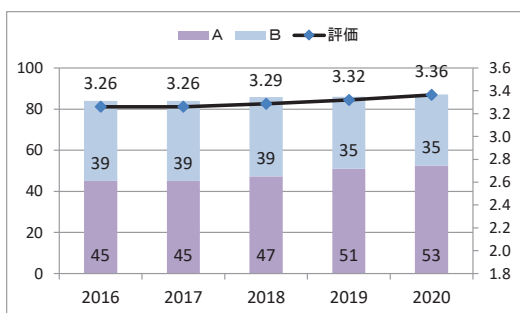
5 生き生きとした学校生活を送っているか(中学校保護者対象)



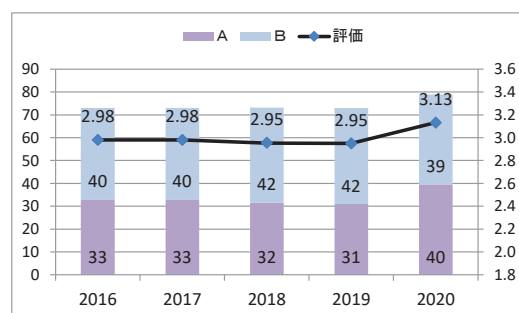
6 本校に入学させてよかったと思われるか(中学校保護者対象)



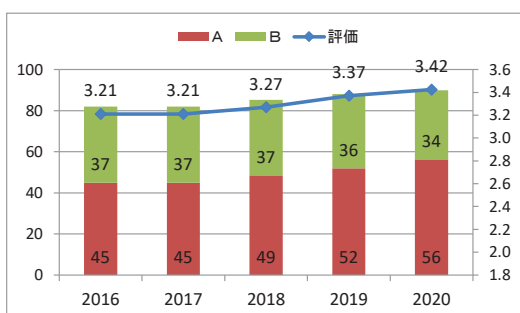
7 学校生活は楽しいと感じているか(高校生対象)



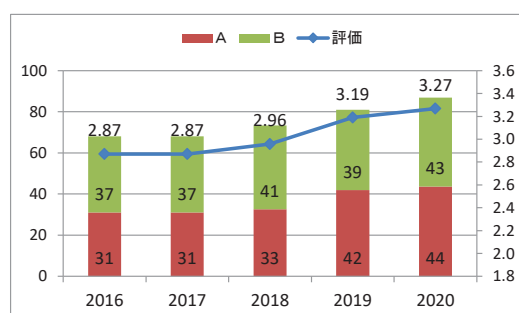
8 本校に入学してよかったと感じているか(高校生対象)



9 学校生活は楽しいと感じているか(中学生対象)



10 本校に入学してよかったと感じているか(中学生対象)



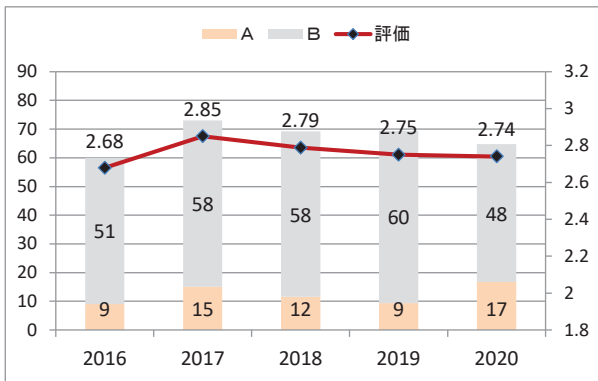
※縦軸について、右側は評価平均値、左側はA・Bの割合(%)を示す。  
 評価平均値は、アンケート回答のA(そう思う)を4、B(どちらかといえばそう思う)を3、C(どちらかといえばそう思わない)を2、D(そう思わない)を1として、以下の式により算出したもの。  

$$[4 \times (\text{Aの回答数}) + 3 \times (\text{Bの回答数}) + 2 \times (\text{Cの回答数}) + 1 \times (\text{Dの回答数})] \div (\text{回答総数}) = \text{評価平均値}$$

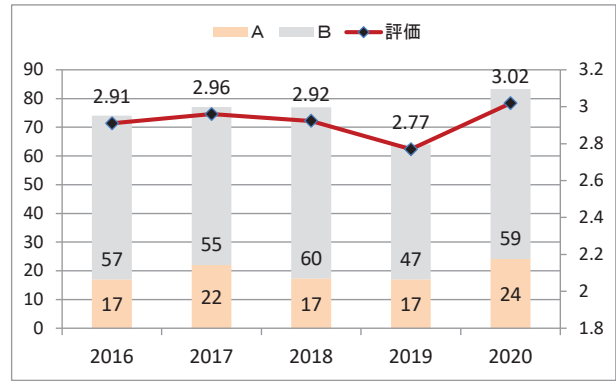
「教育方針・教育目標」「併設校としての使命」の推移（2016年～2020年）

【グラフ⑥】

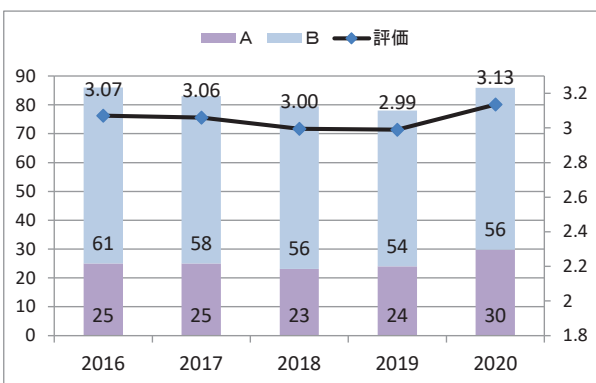
1 教育方針・教育目標は関係者に浸透しているか。(教員組織)



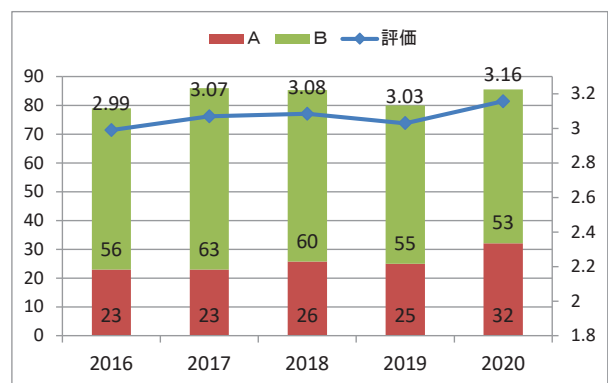
2 関大と合併した意義と併設校としての使命が浸透しているか。(教員組織)



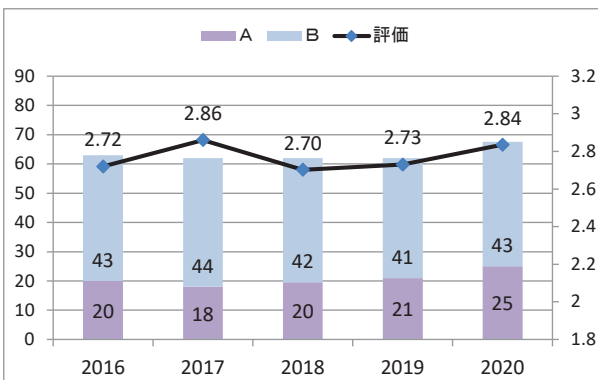
3 本校の教育方針を理解していますか。(高校保護者対象)



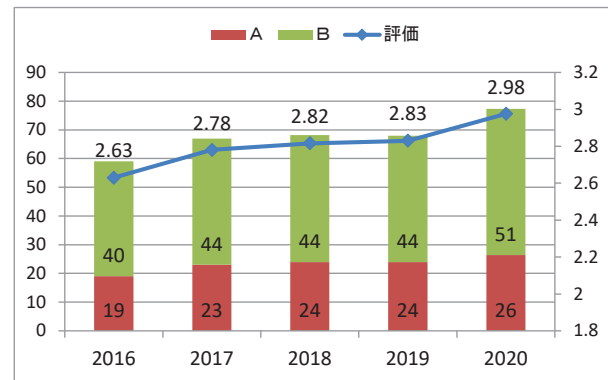
4 本校の教育方針を理解していますか。(中学校保護者対象)



5 本校の教育方針を理解していますか。(高校生対象)



6 本校の教育方針を理解していますか。(中学生対象)



※縦軸について、右側は評価平均値、左側はA・Bの割合(%)を示す。

評価平均値は、アンケート回答のA(そう思う)を4、B(どちらかといえばそう思う)を3、C(どちらかといえばそう思わない)を2、D(そう思わない)を1として、以下の式により算出したもの。

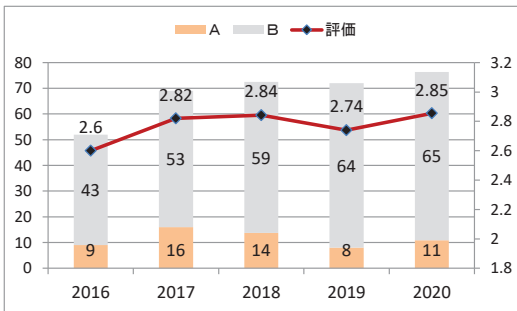
$$[4 \times (\text{Aの回答数}) + 3 \times (\text{Bの回答数}) + 2 \times (\text{Cの回答数}) + 1 \times (\text{Dの回答数})] \div (\text{回答総数}) = \text{評価平均値}$$



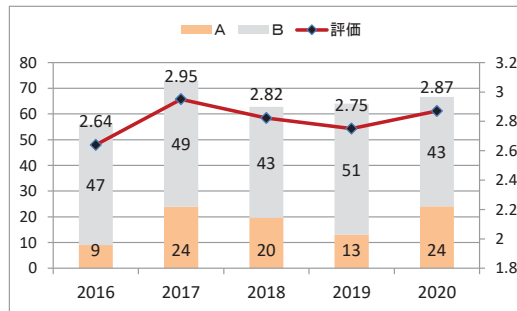
「学力向上の組織的な取組」と「スローラーナーへの対応」の推移（2016年～2020年）

【グラフ⑦】

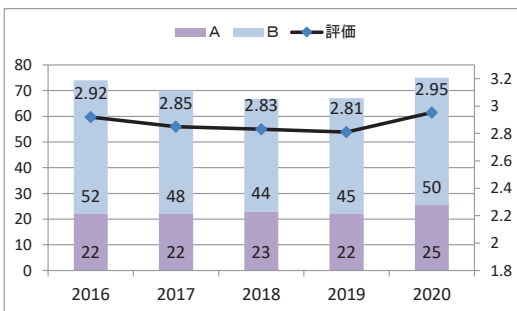
1 学力向上における組織的な取組(教員組織)



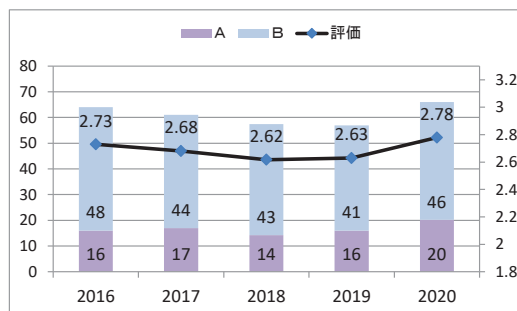
2 スローラーナーへの対応(教員組織)



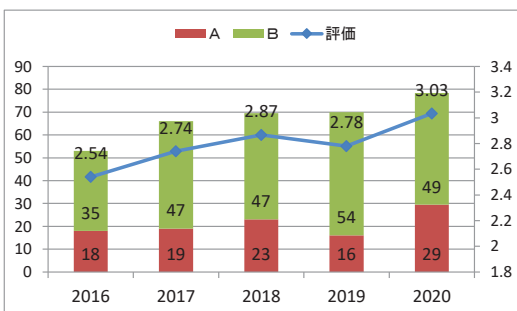
3 学力向上における組織的な取組(高校保護者対象)



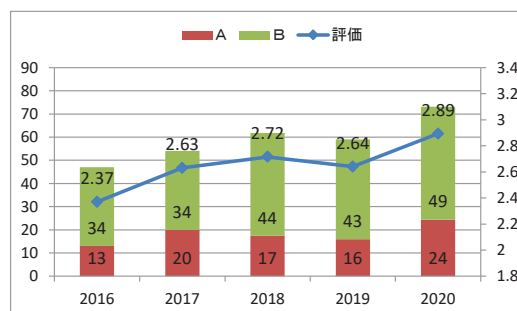
4 スローラーナーへの対応(高校保護者対象)



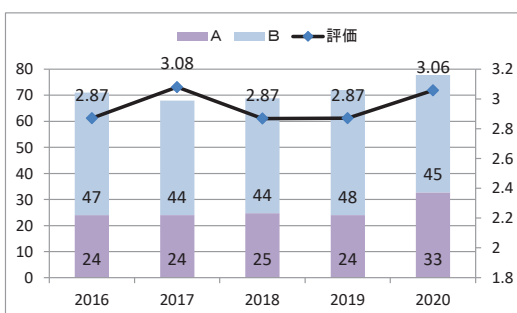
5 学力向上における組織的な取組(中学校保護者対象)



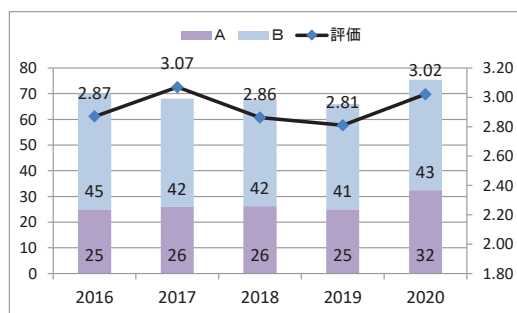
6 スローラーナーへの対応(中学校保護者対象)



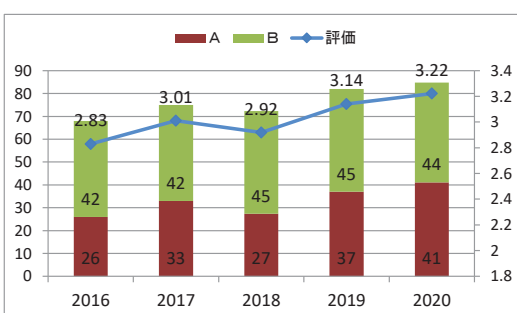
7 自分の学力は向上していると感じているか(高校生対象)



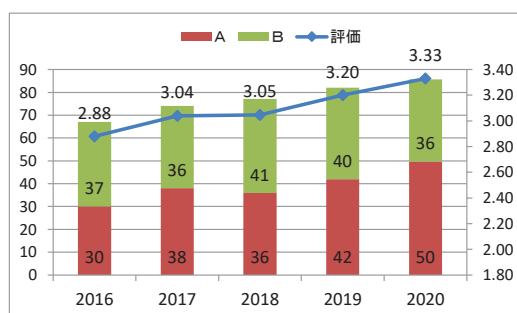
8 適切なフォローをしてもらっていると感じているか(高校生対象)



9 自分の学力は向上していると感じているか(中学生対象)



10 適切なフォローをもらっていると感じているか(中学生対象)



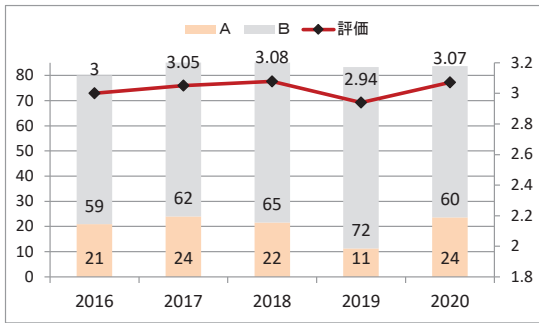
※縦軸について、右側は評価平均値、左側はA・Bの割合(%)を示す。  
 評価平均値は、アンケート回答のA(そう思う)を4、B(どちらかといえばそう思う)を3、C(どちらかといえばそう思わない)を2、D(そう思わない)を1として、以下の式により算出したもの。  

$$[4 \times (\text{Aの回答数}) + 3 \times (\text{Bの回答数}) + 2 \times (\text{Cの回答数}) + 1 \times (\text{Dの回答数})] \div (\text{回答総数}) = \text{評価平均値}$$

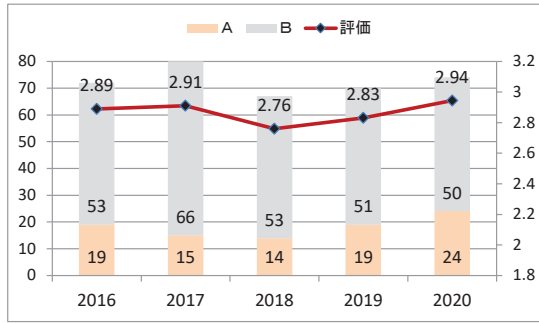
「保護者との連携」(学習と生徒指導に関して)の推移 (2016年～2020年)

【グラフ⑧】

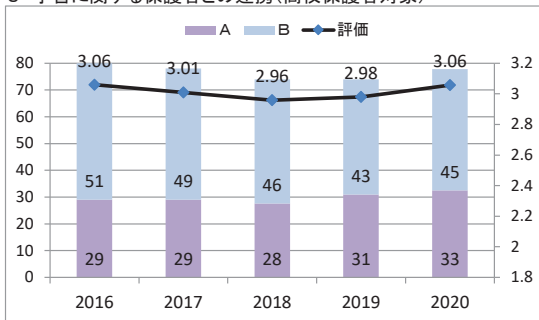
1 学習に関する保護者との連携(教員組織)



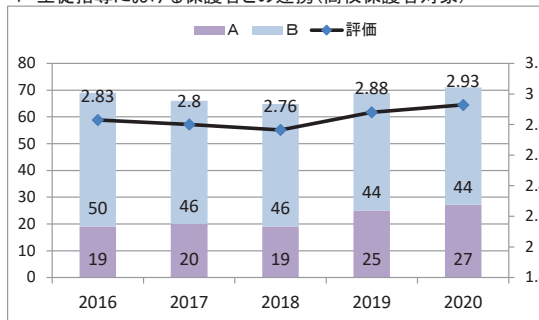
2 生徒指導における保護者との連携(教員組織)



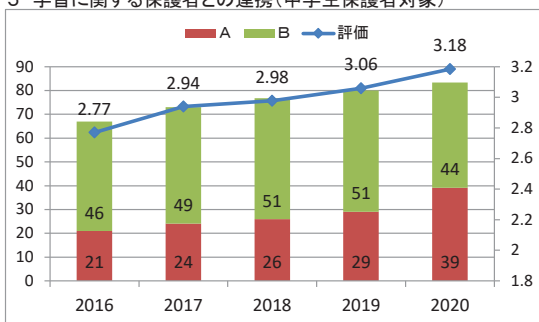
3 学習に関する保護者との連携(高校保護者対象)



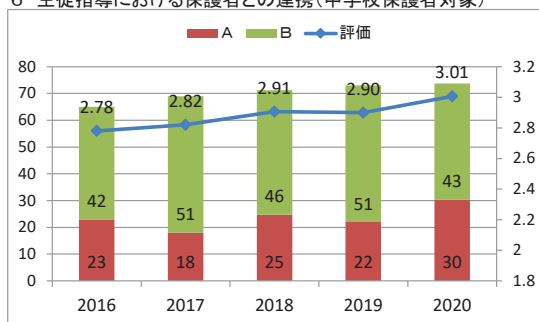
4 生徒指導における保護者との連携(高校保護者対象)



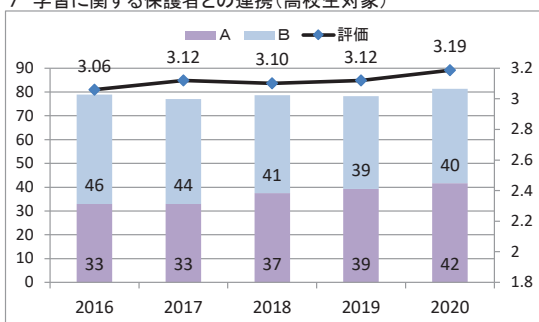
5 学習に関する保護者との連携(中学生保護者対象)



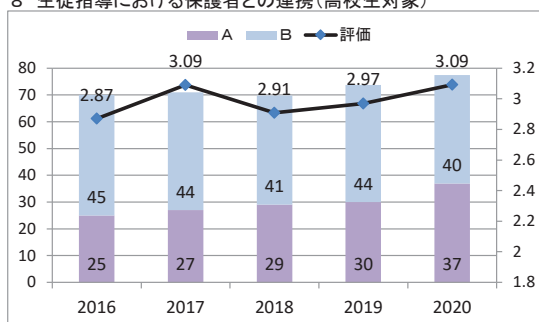
6 生徒指導における保護者との連携(中学校保護者対象)



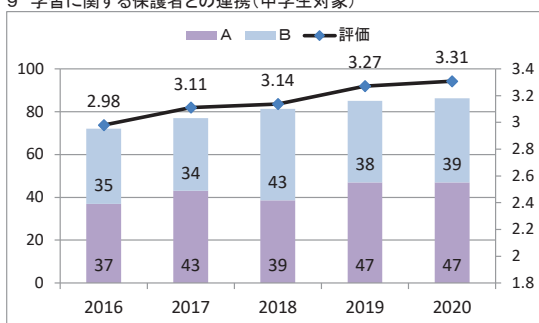
7 学習に関する保護者との連携(高校生対象)



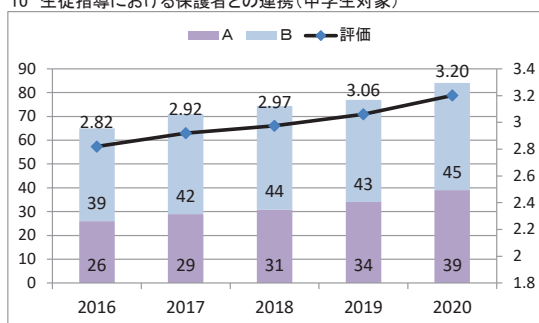
8 生徒指導における保護者との連携(高校生対象)



9 学習に関する保護者との連携(中学生対象)



10 生徒指導における保護者との連携(中学生対象)



※縦軸について、右側は評価平均値、左側はA・Bの割合(%)を示す。

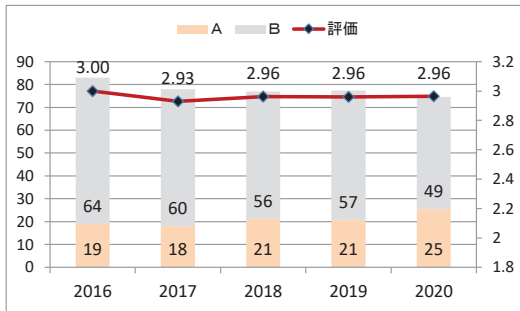
評価平均値は、アンケート回答のA(そう思う)を4、B(どちらかといえばそう思う)を3、C(どちらかといえばそう思わない)を2、D(そう思わない)を1として、以下の式により算出したもの。

$$[4 \times (\text{Aの回答数}) + 3 \times (\text{Bの回答数}) + 2 \times (\text{Cの回答数}) + 1 \times (\text{Dの回答数})] \div (\text{回答総数}) = \text{評価平均値}$$

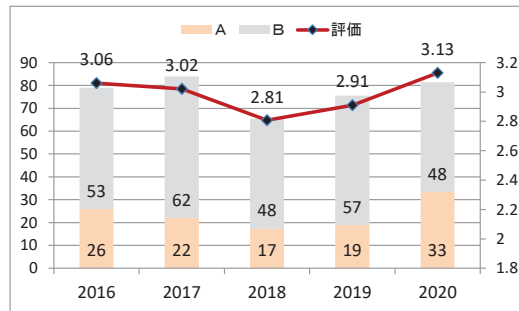
「社会規範の理解」と「生徒指導方針の一貫性」の推移（2016年～2020年）

【グラフ⑨】

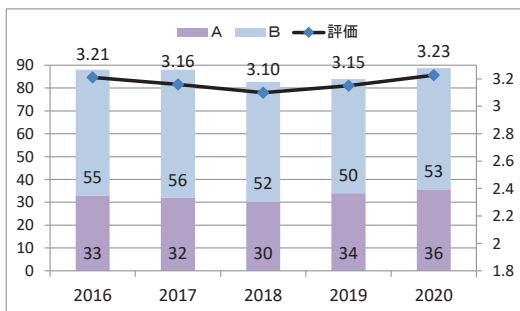
1 社会規範の理解とモラルの醸成(教員組織)



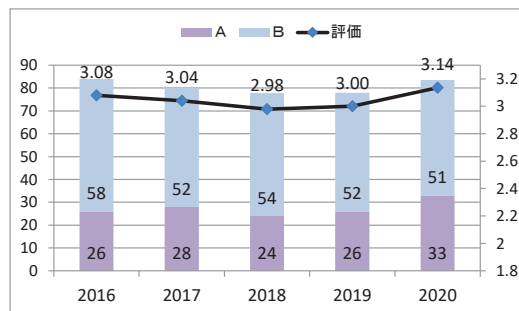
2 生徒指導方針の一貫性(教員組織)



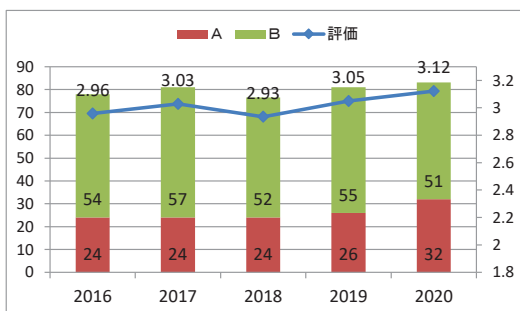
3 社会規範の理解とモラルの醸成(高校保護者対象)



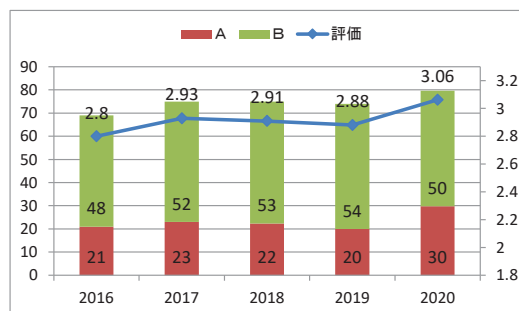
4 生徒指導方針の一貫性(高校保護者対象)



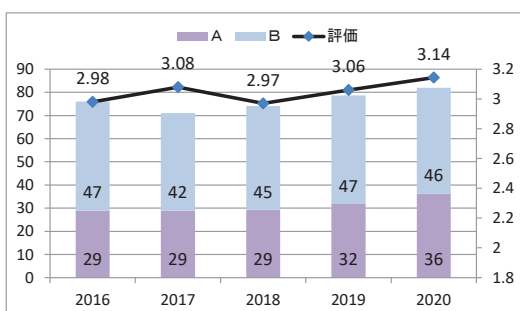
5 社会規範の理解とモラルの醸成(中学校保護者対象)



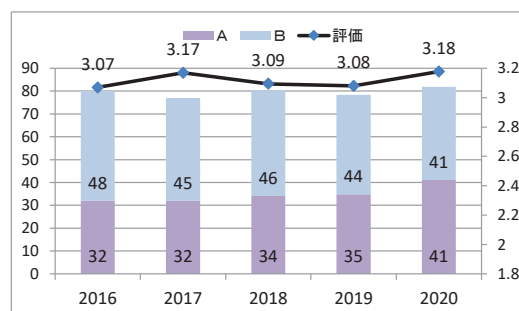
6 生徒指導方針の一貫性(中学校保護者対象)



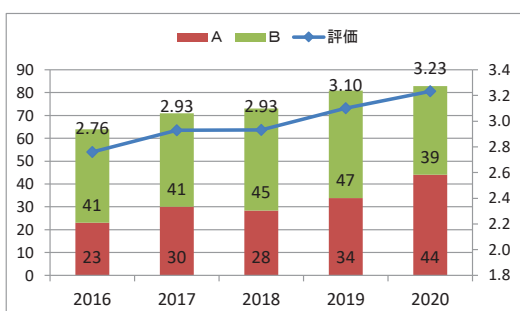
7 社会規範の理解とモラルの醸成(高校生対象)



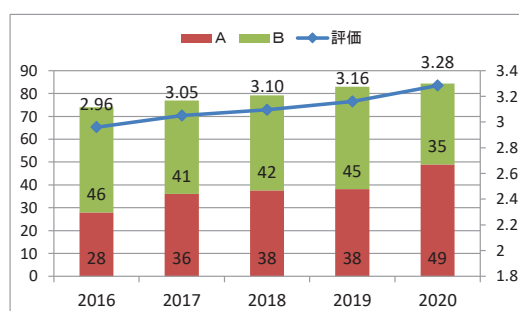
8 生徒指導方針の一貫性(高校生対象)



9 社会規範の理解とモラルの醸成(中学生対象)



10 生徒指導方針の一貫性(中学生対象)



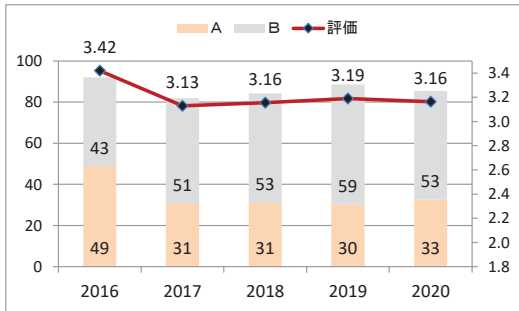
※縦軸について、右側は評価平均値、左側はA・Bの割合(%)を示す。  
 評価平均値は、アンケート回答のA(そう思う)を4、B(どちらかといえばそう思う)を3、C(どちらかといえばそう思わない)を2、D(そう思わない)を1として、以下の式により算出したもの。  

$$[4 \times (\text{Aの回答数}) + 3 \times (\text{Bの回答数}) + 2 \times (\text{Cの回答数}) + 1 \times (\text{Dの回答数})] \div (\text{回答総数}) = \text{評価平均値}$$

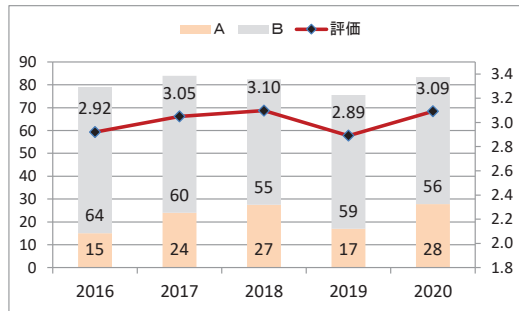
「進路指導体制」の推移（2016年～2020年）

【グラフ⑩】

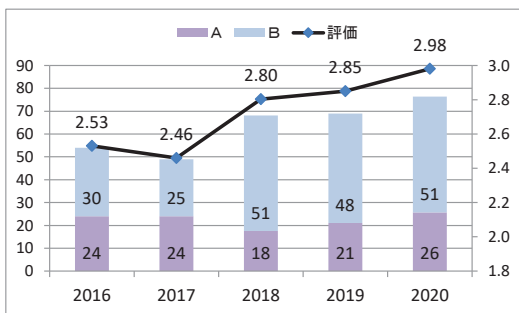
1 生徒・保護者へのカウンセリングの体制を整えている（教員組織）



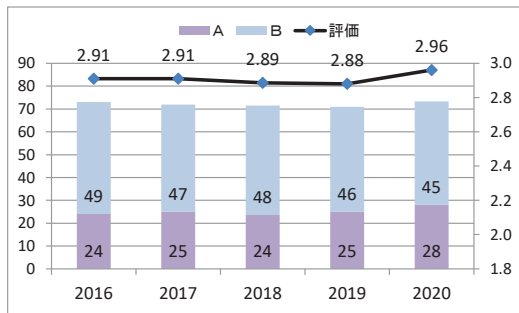
2 進路を実現させる指導を組織的に行える体制である（教員組織）



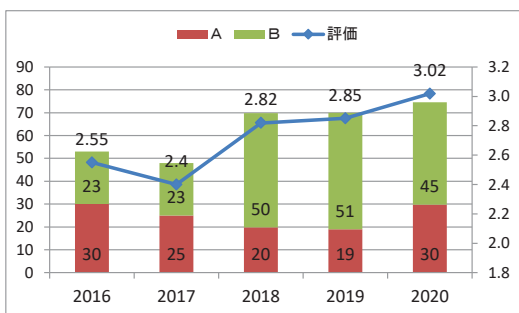
3 カウンセリングを受けられることを知っていますか（高校保護者対象）



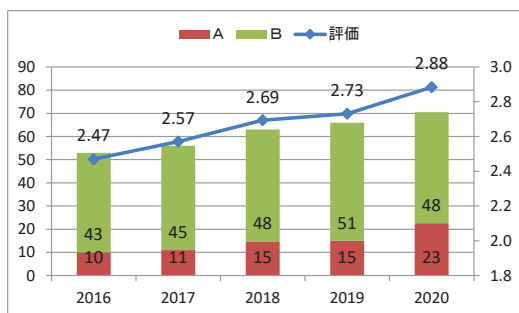
4 進路実現の為きめ細かな指導を行っていますか（高校保護者対象）



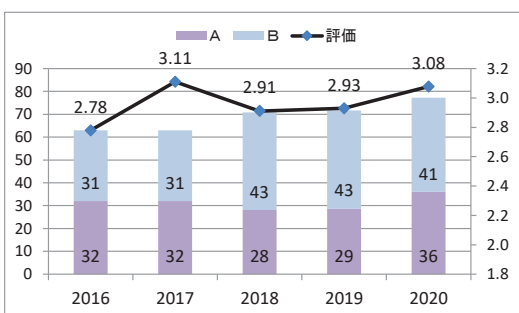
5 カウンセリングを受けられることを知っていますか（中学校保護者対象）



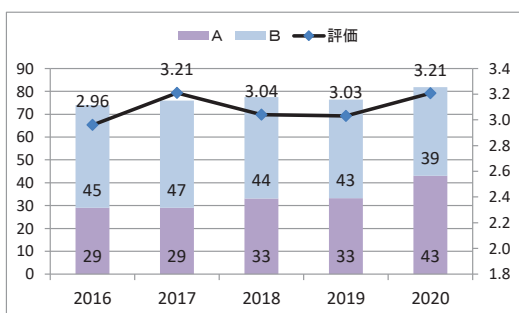
6 進路実現の為きめ細かな指導を行っていますか（中学校保護者対象）



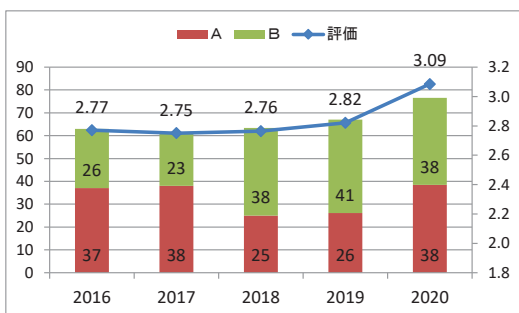
7 カウンセリングを受けられることを知っていますか（高校生対象）



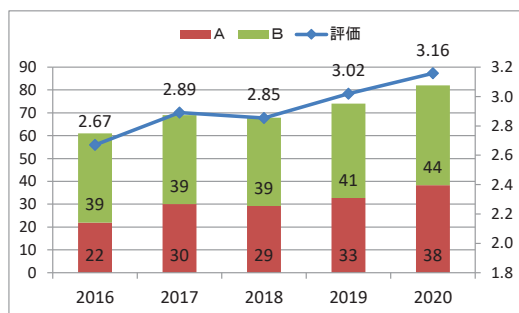
8 進路実現の為きめ細かな指導を行っていますか（高校生対象）



9 カウンセリングを受けられることを知っていますか（中学生対象）



10 進路実現の為きめ細かな指導を行っていますか（中学生対象）



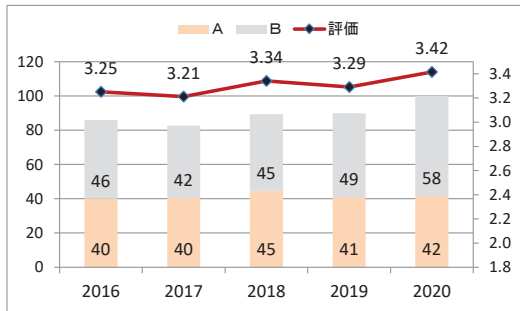
※縦軸について、右側は評価平均値、左側はA・Bの割合(%)を示す。  
 評価平均値は、アンケート回答のA(そう思う)を4、B(どちらかといえばそう思う)を3、C(どちらかといえばそう思わない)を2、D(そう思わない)を1として、以下の式により算出したもの。  

$$[4 \times (A \text{の回答数}) + 3 \times (B \text{の回答数}) + 2 \times (C \text{の回答数}) + 1 \times (D \text{の回答数})] \div (\text{回答総数}) = \text{評価平均値}$$

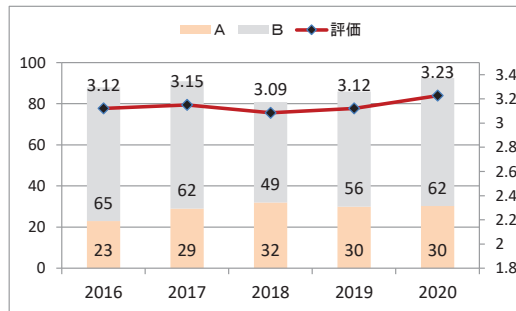
「部活動支援」と「学校行事指導体制」の推移（2016年～2020年）

【グラフ⑩】

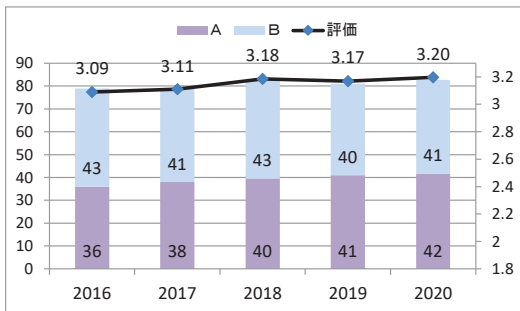
1 部活動を通して生徒が成長できるよう学校全体で支援しているか(教員組織)



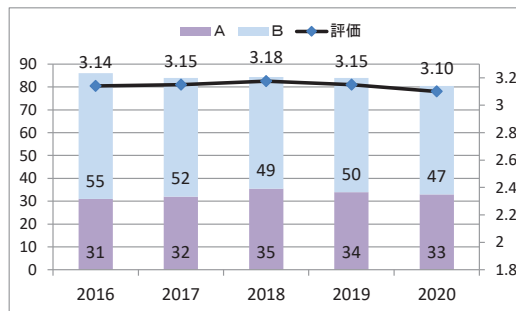
2 学校行事に対して学校と保護者が協力して支援しているか(教員組織)



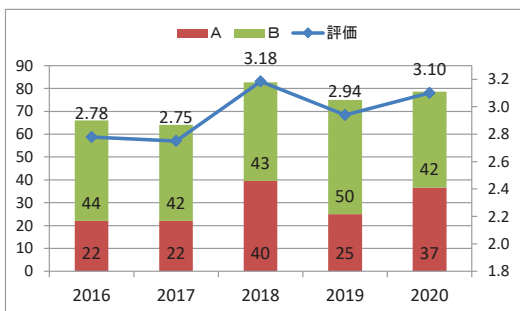
3 部活動を通して生徒が成長できるよう学校全体で支援している(高校保護者対象)



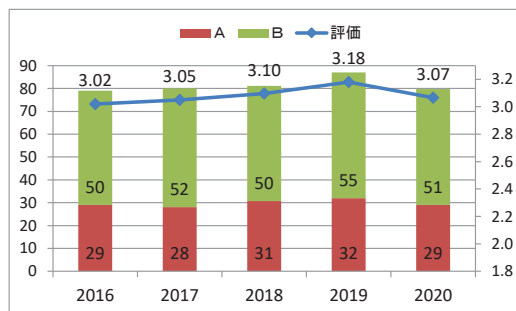
4 学校行事に対して学校と保護者が協力して支援していると思うか(高校保護者対象)



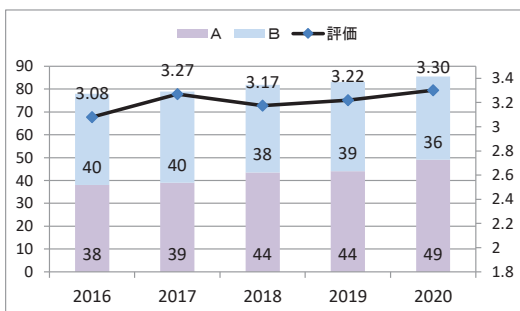
5 部活動を通して生徒が成長できるよう学校全体で支援しているか(中学校保護者対象)



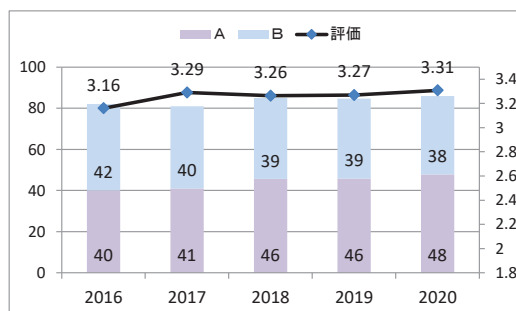
6 学校行事に対して学校と保護者が協力して支援していると思うか(中学校保護者対象)



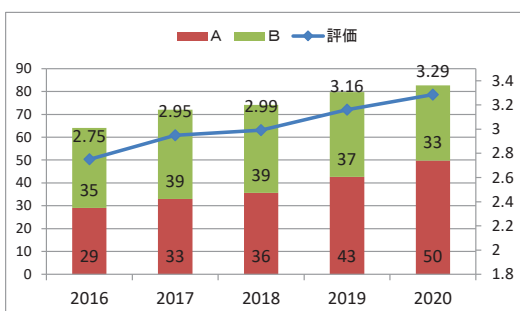
7 部活動を通して生徒が成長できるよう学校全体で支援していると思うか(高校生対象)



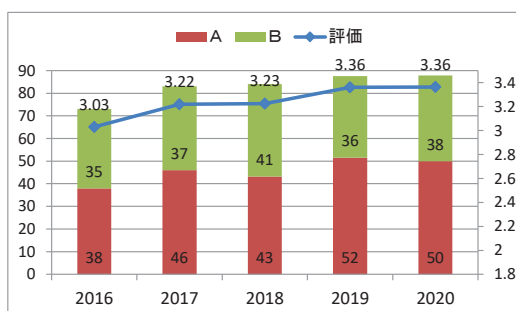
8 学校行事に生徒が積極的に活動できるよう配慮していると思うか(高校生対象)



9 部活動を通して生徒が成長できるよう学校全体で支援していると思うか(中学生対象)



10 学校行事に生徒が積極的に活動できるよう配慮していると思うか(中学生対象)



※縦軸について、右側は評価平均値、左側はA・Bの割合(%)を示す。

評価平均値は、アンケート回答のA(そう思う)を4、B(どちらかといえばそう思う)を3、C(どちらかといえばそう思わない)を2、D(そう思わない)を1として、以下の式により算出したもの。

$$[4 \times (\text{Aの回答数}) + 3 \times (\text{Bの回答数}) + 2 \times (\text{Cの回答数}) + 1 \times (\text{Dの回答数})] \div (\text{回答総数}) = \text{評価平均値}$$

分類	大項目	No.	小項目	設 問 30項目	評価	A	B	C	D
学校全般		○ 1		本校の生徒は充実した学校生活を楽しんでいる。	3.29	34.5	60.0	5.5	0.0
		○ 2		本校に入学した生徒・保護者の満足度は高い。	3.09	20.0	69.1	10.9	0.0
学校運営	私学の独自性	○ 3	教育方針・教育目標	建学の精神に基づく教育方針・教育目標は教職員・保護者などの関係者によく浸透している。	2.74	16.7	48.1	27.8	7.4
		4	合併の精神・併設校としての使命	関西大学と合併した意義や併設校としての使命が教職員に浸透している。	3.02	24.1	59.3	11.1	5.6
	教職員間連携	5	管理職と教員、教職員同士の連携	管理職と教員あるいは教職員同士の間で信頼関係を築く努力がなされている。	2.76	14.8	50.0	31.5	3.7
		6	ミドルマネジメントによる組織運営	主任(学年・分掌・教科)がミドルアップとミドルダウンに努め、組織運営が活性化している。	2.81	22.2	48.1	18.5	11.1
		○ 7	会議の有効性	職員会議や学年会議、教科会議などが効率よく機能的に運営されている。	2.87	23.6	47.3	21.8	7.3
		8	ハラスメントに関する研修	安心・安全な職場環境を形成するために、ハラスメントに対する注意喚起および定期的な研修が行われている。	2.65	9.3	50.0	37.0	3.7
	情報公開	9	ホームページの活用	本校のホームページは、生徒や保護者にとって知りたい情報を有効に公開している。	2.81	14.8	55.6	25.9	3.7
	危機管理	10	初動対応	事故、事件、災害に対する初動対応が的確に行われる組織になっている。	2.78	22.2	44.4	22.2	11.1
		○ 11	避難訓練や安全対策	警察や消防署と連携し、避難訓練や安全講習会を開くなどの安全対策を講じている。	3.40	50.9	38.2	10.9	0.0
	地域との連携	12	地域連携の推進	自治会や近隣地域に対して、本校の教育活動に理解を得るための取組が行われている。	2.68	13.2	49.1	30.2	7.5
教育内容	知 育	○ 13	学力向上における組織的な取組	学力向上のための、組織的な取組を行っている。	2.85	10.9	65.5	21.8	1.8
		○ 14	スローラーナーへの対応	学力不足生徒へのフォローのために補習授業や個人指導を行っている。	2.87	24.1	42.6	29.6	3.7
		○ 15	保護者との連携	学習状況の説明や家庭学習の把握のため、保護者との懇談や連絡を密に行っている。	3.07	23.6	60.0	16.4	0.0
	徳 育	○ 16	社会規範の理解とモラルの醸成	生徒に学校や社会のルールを遵守させ、マナーやモラルを向上させる取組を行っている。	2.96	25.5	49.1	21.8	3.6
		○ 17	いじめへの対応	いじめの実態把握に努め、生徒が発する危険信号等を見逃さないようにして早期発見に努める体制が整い、学校組織として共有できている。	3.22	36.4	50.9	10.9	1.8
		18	ボランティア活動の推進	生徒に地域とのつながりを意識させ、清掃活動などの地域貢献が行われている。	2.91	27.8	42.6	22.2	7.4
	体 育	○ 19	健康な身体づくり	基本的生活習慣や健康な身体づくり、基礎体力づくりの指導を行っている。	3.35	38.2	58.2	3.6	0.0
	人権教育	20	人権に対する指導体制	他者の人権を尊重する教育が計画的に行われている。	3.04	24.1	59.3	13.0	3.7
学校間連携	○ 21	中高大連携事業の実践	高大あるいは中大、中高の学校同士の教育連携が積極的に行われている。	3.05	30.9	47.3	18.2	3.6	
生徒支援	生徒指導	22	指導方針の一貫性	生徒指導が学校としての明確な方針のもとに行われている。	3.13	33.3	48.1	16.7	1.9
		23	組織的な指導体制・家庭との連携	生徒指導を組織的に行う体制ができており、教員間の意識の統一や家庭との連携も行われている。	2.94	24.1	50.0	22.2	3.7
	○ 24	カウンセリング体制	生徒・保護者へのカウンセリングの体制を整えている。	3.16	32.7	52.7	12.7	1.8	
	進路指導	25	進路指導体制	一人ひとりの進路を実現させる指導を、係を中心として組織的に行える体制ができています。	3.09	27.8	55.6	14.8	1.9
	生徒会活動	26	部活動支援状況	部活動を通じて生徒が成長できるよう学校全体で支援している。	3.42	41.5	58.5	0.0	0.0
27		学校行事指導体制	学校行事を通じて生徒が主体的に活動できるよう、学校と保護者が協力して支援している。	3.23	30.2	62.3	7.5	0.0	
教員研修 資質向上	教員の研修活動	○ 28	校内外における教員研修	本校は、教員の資質向上、生徒の知的好奇心を喚起する授業構成のための校内外の研修体制が充実している。	2.57	9.3	46.3	37.0	7.4
		29	教員相互の資質向上体制	教員間で授業を見学し合い、互いに切磋琢磨して授業力を向上させる取組をしている。	2.60	15.1	37.7	39.6	7.5
その他	国際化	30	国際理解	ALTによる授業、異文化交流あるいは語学研修等により、国際理解を深める体制がある。	2.57	15.4	40.4	34.6	9.6

注：○は併設校共通項目

A～Dの数字は全体に占める割合(%) 「評価」は評価基準(4段階)の平均

評価基準 A(4): そう思う B(3): どちらかといえばそう思う C(2): どちらかといえばそう思わない D(1): そう思わない

2020年度 教員個人の自己評価 点検・評価項目 一人 関西大学北陽高等学校・中学校

【資料1-2】

分類	大項目	No.	設 問	25項目	評価	A	B	C	D
学校運営	私学の独自性	1	教育方針・教育目標	建学の精神、関大北陽の中期ビジョン、教育方針をしっかりと理解をしている。	2.95	21.8	52.7	23.6	1.8
		2	併設校としての使命感	関西大学の併設校としての使命を理解した上で、生徒の指導に携わっている。	3.24	38.2	50.9	7.3	3.6
	教育課程	3	学習指導要領と年間指導計画	教科ごとに作成をしたシラバスに沿って授業を行なっている。	3.35	41.8	50.9	7.3	0.0
	教職員間連携	4	教職員間の連携	教員同士あるいは教員と職員間の相互理解と信頼関係づくりに努めている。	3.27	38.2	52.7	7.3	1.8
		5	会議の有効性	職員会議や学年会議、教科会議などが効率よく機能的に運営されるよう努めている。	3.05	29.1	52.7	12.7	5.5
	危機管理	6	初動対応および報告・連絡・相談	事故、事件、災害に対する的確な初動対応やタイムリーな報告・連絡・相談を行なっている。	3.29	41.8	49.1	5.5	3.6
	分掌と学年	7	分掌における役割	分掌における自分の役割と任務を確実に遂行し、学校運営の改善を図っている。	3.35	40.7	53.7	5.6	0.0
		8	学年における役割	学年における自分の役割と任務を確実に遂行し、学校運営の改善を図っている。	3.27	40.0	50.9	5.5	3.6
教育内容	知 育	9	基礎学力の習得	基礎基本(基礎学力)を身につけさせるために、重要項目の反復練習を十分に行っている。	3.11	27.3	56.4	16.4	0.0
		10	学力向上における組織的な取組	学力向上のために学年、教科として共通して取り組むべきところは協調しながら取り組んでいる。	3.24	36.4	52.7	9.1	1.8
		11	模試や入試問題の活用	模擬試験や大学入試などの問題分析を行い、授業や講習等に反映させている。	3.05	29.1	47.3	23.6	0.0
		12	スローラーナーへの対応	学力不足生徒へのフォローのために補習授業や個人指導を精力的に行っている。	2.71	7.3	58.2	32.7	1.8
		13	授業評価の活用	生徒の教員に対する授業評価を分析し、反省すべき点を把握し、今後の改善を図ろうとしている。	3.00	23.6	54.5	20.0	1.8
		14	保護者との連携	生徒の成績の伸びや学習状況に関して、保護者との懇談や連絡を密に行っている。	3.02	25.5	54.5	16.4	3.6
	徳 育	15	社会規範の理解とモラルの醸成	生徒に対してマナーやモラルの大切さを喚起させ、自らの道徳心を高める努力をしている。	3.33	41.8	49.1	9.1	0.0
	体 育	16	健康な身体づくり	常に生徒の健康管理に気を配り、心身ともに健康な体づくりを促している。	3.29	41.8	45.5	12.7	0.0
	人権教育	17	人権に対する指導体制	生徒の人権を尊重し、対等の互恵関係を築く努力をしている。	3.31	41.8	49.1	7.3	1.8
	学校間連携	18	中高大連携事業の実践	関西大学との教育連携に対する理解を深め、積極的に協力をしている。	3.25	36.4	54.5	7.3	1.8
生徒指導と支援	生徒指導	19	指導方針の一貫性	学校としての生徒指導の方針に従い、個々の生徒に対してしっかりと指導管理ができています。	3.33	41.8	50.9	5.5	1.8
		20	家庭との連携状況	生徒指導において、家庭との連携を密にし、連絡を取り合っている。	3.16	34.5	49.1	14.5	1.8
	進路指導	21	進路指導体制	生徒一人ひとりの個性と能力に合った進路指導を、進路指導係と連携して行っている。	3.25	36.4	52.7	10.9	0.0
	生徒会指導	22	部活動支援状況	生徒が心身ともに成長できるよう、クラブ活動を通して計画的に指導支援をしている。	3.35	49.1	38.2	10.9	1.8
		23	学校行事指導体制	学校行事や生徒会活動において、生徒同士が協力して主体的に活動できるよう指導支援をしている。	3.31	38.2	54.5	7.3	0.0
教員の 資質向上	教員研修	24	教員研修体制	学校内外の研修会に積極的に参加をし、教員としての資質を向上させるよう取り組んでいる。	2.69	16.4	43.6	32.7	7.3
		25	教員相互の援助体制	研究授業や授業見学を通して、教員同士で互いに切磋琢磨し、授業改善を図っている。	2.73	16.4	49.1	25.5	9.1

注:○は併設校共通項目

A～Dの数字は全体に占める割合(%) 「評価」は評価基準(4段階)の平均

評価基準 A(4):そう思う B(3):どちらかといえばそう思う C(2):どちらかといえばそう思わない D(1):そう思わない

学校評価(教員対象) —「組織面の自己評価」の年次比較(過去4カ年)—

【資料1-3】

			教員 組織面の自己評価																					
分類	大項目	小項目	NO.	2017年度					2018年度					2019年度					2020年度					
				評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	
学校全般		学園生活	○ 1	3.30	33.3	63.0	3.7	0.0	3.19	26.9	65.4	7.7	0.0	3.25	34.0	56.6	9.4	0.0	3.29	34.5	60.0	5.5	0.0	
			○ 2	3.09	18.5	72.2	9.3	0.0	2.88	11.8	64.7	23.5	0.0	2.89	9.4	69.8	20.8	0.0	3.09	20.0	69.1	10.9	0.0	
学校運営	私学の独自性	教育方針・教育目標	○ 3	2.85	14.5	58.2	25.5	1.8	2.79	11.5	57.7	28.8	1.9	2.75	9.4	60.4	26.4	3.8	2.74	16.7	48.1	27.8	7.4	
		合併の精神・併設校としての使命	4	2.96	21.8	54.5	21.8	1.8	2.92	17.3	59.6	21.2	1.9	2.77	17.0	47.2	32.1	3.8	3.02	24.1	59.3	11.1	5.6	
	教育課程	学習指導要領と年間指導計画																						
		教職員間連携	管理職と教員、教職員同士の間の連携	5	2.60	12.7	41.8	38.2	7.3	2.79	19.2	44.2	32.7	3.8	2.77	18.9	45.3	30.2	5.7	2.76	14.8	50.0	31.5	3.7
			ミドルマネジメントの組織運営	6	2.91	14.5	61.8	23.6	0.0	2.98	23.1	53.8	21.2	1.9	2.83	18.9	52.8	20.8	7.5	2.81	22.2	48.1	18.5	11.1
			会議の有効性	○ 7	3.02	21.8	58.2	20.0	0.0	2.83	21.2	48.1	23.1	7.7	2.85	23.1	48.1	19.2	9.6	2.87	23.6	47.3	21.8	7.3
	情報公開	ハラメントに関する研修	8	2.51	7.3	43.6	41.8	7.3	2.71	9.8	54.9	31.4	3.9	2.75	20.8	43.4	26.4	9.4	2.65	9.3	50.0	37.0	3.7	
		ホームページの活用	○ 9	2.95	25.5	49.1	20.0	5.5	2.63	7.8	56.9	25.5	9.8	2.75	15.1	49.1	32.1	3.8	2.81	14.8	55.6	25.9	3.7	
	危機管理	初動対応	10	3.04	25.5	58.2	10.9	5.5	2.61	15.7	41.2	31.4	11.8	2.62	15.1	41.5	34.0	9.4	2.78	22.2	44.4	22.2	11.1	
		避難訓練や安全対策	○ 11	3.33	49.1	36.4	12.7	1.8	3.23	38.5	50.0	7.7	3.8	3.17	35.8	47.2	15.1	1.9	3.40	50.9	38.2	10.9	0.0	
	地域との連携	地域連携の推進	12	2.64	18.2	32.7	43.6	5.5	2.53	11.8	39.2	39.2	9.8	2.58	9.4	47.2	35.8	7.5	2.68	13.2	49.1	30.2	7.5	
		分掌と学年	分掌における役割																					
	学年における役割																							
教育内容	知育	基礎学力の習得																						
		学力向上における組織的な取組	○ 13	2.82	16.4	52.7	27.3	3.6	2.84	13.7	58.8	25.5	2.0	2.74	7.5	64.2	22.6	5.7	2.85	10.9	65.5	21.8	1.8	
		模試や入試問題の活用																						
		スローラーナーへの対応	○ 14	2.95	23.6	49.1	25.5	1.8	2.82	19.6	43.1	37.3	0.0	2.75	13.2	50.9	34.0	1.9	2.87	24.1	42.6	29.6	3.7	
		授業評価の活用																						
	保護者との連携	○ 15	3.05	23.6	61.8	10.9	3.6	3.08	21.6	64.7	13.7	0.0	2.94	11.3	71.7	17.0	0.0	3.07	23.6	60.0	16.4	0.0		
	徳育	社会規範の理解とモラルの醸成	○ 16	2.93	18.2	60.0	18.2	3.6	2.96	21.2	55.8	21.2	1.9	2.96	20.8	56.6	20.8	1.9	2.96	25.5	49.1	21.8	3.6	
		いじめへの対応	17	3.13	27.3	61.8	7.3	3.6	3.02	19.2	65.4	13.5	1.9	3.06	22.6	62.3	13.2	1.9	3.22	36.4	50.9	10.9	1.8	
		ボランティア活動の推進	18	2.98	27.3	50.9	14.5	7.3	3.18	37.3	47.1	11.8	3.9	2.89	30.2	34.0	30.2	5.7	2.91	27.8	42.6	22.2	7.4	
	体育	健康な身体づくり	○ 19	3.20	38.2	45.5	14.5	1.8	3.18	27.5	62.7	9.8	0.0	3.30	39.6	50.9	9.4	0.0	3.35	38.2	58.2	3.6	0.0	
人権教育	人権に対する指導体制	20	3.02	29.1	45.5	23.6	1.8	3.00	25.5	51.0	21.6	2.0	3.02	22.6	60.4	13.2	3.8	3.04	24.1	59.3	13.0	3.7		
学校間連携	中高大連携事業の実践	○ 21	3.29	45.5	40.0	12.7	1.8	3.06	41.2	29.4	23.5	5.9	3.13	32.1	49.1	18.9	0.0	3.05	30.9	47.3	18.2	3.6		
生徒指導	生徒指導	指導方針の一貫性	22	3.02	21.8	61.8	12.7	3.6	2.81	17.3	48.1	32.7	1.9	2.91	18.9	56.6	20.8	3.8	3.13	33.3	48.1	16.7	1.9	
		家庭との連携状況																						
		組織的な指導体制	23	2.91	14.5	65.5	16.4	3.6	2.76	13.7	52.9	29.4	3.9	2.83	18.9	50.9	24.5	5.7	2.94	24.1	50.0	22.2	3.7	
生徒支援	カウンセリング	カウンセリング体制	○ 24	3.13	30.9	50.9	18.2	0.0	3.16	31.4	52.9	15.7	0.0	3.19	30.2	58.5	11.3	0.0	3.16	32.7	52.7	12.7	1.8	
		進路指導体制	25	3.05	23.6	60.0	14.5	1.8	3.10	27.5	54.9	17.6	0.0	2.89	17.0	58.5	20.8	3.8	3.09	27.8	55.6	14.8	1.9	
	生徒会活動	部活動支援状況	26	3.21	40.4	42.3	15.4	1.9	3.34	44.7	44.7	10.6	0.0	3.29	41.2	49.0	7.8	2.0	3.42	41.5	58.5	0.0	0.0	
		学校行事指導体制	27	3.15	28.8	61.5	5.8	3.8	3.09	31.9	48.9	14.9	4.3	3.12	30.0	56.0	10.0	4.0	3.23	30.2	62.3	7.5	0.0	
教員の資質向上	教員の研修活動	校内外における教員研修	○ 28	2.87	23.1	44.2	28.8	3.8	2.79	19.1	46.8	27.7	6.4	2.67	13.7	43.1	39.2	3.9	2.57	9.3	46.3	37.0	7.4	
		教員相互の資質向上体制	29	2.62	15.4	40.4	34.6	9.6	2.60	6.4	59.6	21.3	12.8	2.41	9.8	37.3	37.3	15.7	2.60	15.1	37.7	39.6	7.5	
その他	国際化	国際理解	30	2.45	13.7	37.3	29.4	19.6	2.46	13.0	32.6	41.3	13.0	2.20	8.2	24.5	51.0	16.3	2.57	15.4	40.4	34.6	9.6	

注：○は併設校共通項目 A～Dの数字は全体に占める割合(%) 「評価」は評価基準(4段階)の平均

評価基準について A(4): そう思う B(3): どちらかといえばそう思う C(2): どちらかといえばそう思わない D(1): そう思わない



学校評価(教員対象) —「個人面の自己評価」の年次比較(過去4力年)—

【資料1-4】

		教員 個人面の自己評価																					
		2017年度					2018年度					2019年度					2020年度						
分類	大項目	小項目	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	
学校全般		学園生活																					
学校運営	私学の独自性	教育方針・教育目標	1	3.04	22.6	58.5	18.9	0.0	2.96	17.6	64.7	13.7	3.9	2.88	15.7	60.8	19.6	3.9	2.95	21.8	52.7	23.6	1.8
		合併の精神・併設校としての使命	2	3.28	43.4	43.4	11.3	1.9	3.31	39.2	52.9	7.8	0.0	3.24	31.4	60.8	7.8	0.0	3.24	38.2	50.9	7.3	3.6
	教育課程	学習指導要領と年間指導計画	3	3.47	58.5	30.2	11.3	0.0	3.22	39.2	43.1	17.6	0.0	3.39	49.0	41.2	9.8	0.0	3.35	41.8	50.9	7.3	0.0
		教員間連携	4	3.06	26.4	54.7	17.0	1.9	3.08	25.5	58.8	13.7	2.0	3.06	24.0	58.0	18.0	0.0	3.27	38.2	52.7	7.3	1.8
	教職員間連携	管理職と教員との連携	5	3.19	32.1	54.7	13.2	0.0	3.18	31.4	54.9	13.7	0.0	3.16	29.4	58.8	9.8	2.0	3.05	29.1	52.7	12.7	5.5
		会議の有効性																					
	情報公開	ホームページの活用																					
	危機管理	初動対応	6	3.30	45.3	41.5	11.3	1.9	3.14	27.5	62.7	5.9	3.9	3.16	33.3	51.0	13.7	2.0	3.29	41.8	49.1	5.5	3.6
		避難訓練や安全対策																					
	地域との連携	地域連携の推進																					
分掌と学年	分掌における役割	7	3.36	43.4	50.9	3.8	1.9	3.33	41.2	51.0	7.8	0.0	3.37	41.2	54.9	3.9	0.0	3.35	40.7	53.7	5.6	0.0	
	学年における役割	8	3.24	40.0	44.0	16.0	0.0	3.16	32.0	56.0	8.0	4.0	3.14	23.5	68.6	5.9	2.0	3.27	40.0	50.9	5.5	3.6	
教育内容	知 育	基礎学力の習得	9	3.17	37.7	45.3	13.2	3.8	3.08	27.5	54.9	15.7	2.0	3.10	27.5	56.9	13.7	2.0	3.11	27.3	56.4	16.4	0.0
		学力向上における組織的な取組	10	3.17	37.7	43.4	17.0	1.9	3.27	37.3	52.9	9.8	0.0	3.18	33.3	52.9	11.8	2.0	3.24	36.4	52.7	9.1	1.8
		模試や入試問題の活用	11	3.04	35.8	35.8	24.5	3.8	3.08	29.4	52.9	13.7	3.9	3.06	27.5	54.9	13.7	3.9	3.05	29.1	47.3	23.6	0.0
		スローラーナーへの対応	12	2.75	15.1	50.9	28.3	5.7	2.63	15.7	37.3	41.2	5.9	2.57	9.8	41.2	45.1	3.9	2.71	7.3	58.2	32.7	1.8
		授業評価の活用	13	2.91	18.9	56.6	20.8	3.8	2.94	25.5	47.1	23.5	3.9	2.88	17.6	52.9	29.4	0.0	3.00	23.6	54.5	20.0	1.8
		保護者との連携	14	3.00	28.3	49.1	17.0	5.7	2.82	17.6	51.0	27.5	3.9	2.98	25.5	49.0	23.5	2.0	3.02	25.5	54.5	16.4	3.6
	徳 育	社会規範の理解とモラルの醸成	15	3.30	39.6	50.9	9.4	0.0	3.29	45.1	39.2	15.7	0.0	3.16	27.5	62.7	7.8	2.0	3.33	41.8	49.1	9.1	0.0
		いじめへの対応																					
		ボランティア活動の推進																					
	体 育	健康な身体づくり	16	3.29	40.4	48.1	11.5	0.0	3.14	27.5	58.8	13.7	0.0	3.20	33.3	54.9	9.8	2.0	3.29	41.8	45.5	12.7	0.0
人権教育	人権に対する指導体制	17	3.19	34.0	52.8	11.3	1.9	3.14	33.3	49.0	15.7	2.0	3.14	27.5	60.8	9.8	2.0	3.31	41.8	49.1	7.3	1.8	
学校間連携	中高大連携事業の実践	18	3.15	34.0	49.1	15.1	1.9	3.10	33.3	47.1	15.7	3.9	3.06	23.5	60.8	13.7	2.0	3.25	36.4	54.5	7.3	1.8	
生徒指導	生徒指導	指導方針の一貫性	19	3.15	24.5	67.9	5.7	1.9	3.27	33.3	62.7	2.0	2.0	3.20	27.5	66.7	3.9	2.0	3.33	41.8	50.9	5.5	1.8
		家庭との連携状況	20	2.92	22.6	50.9	22.6	3.8	3.16	29.4	58.8	9.8	2.0	3.04	19.6	66.7	11.8	2.0	3.16	34.5	49.1	14.5	1.8
生徒支援	カウンセリング	カウンセリング体制																					
	進路指導	進路指導体制	21	3.04	32.1	41.5	24.5	1.9	3.14	27.5	58.8	13.7	0.0	2.96	21.6	58.8	13.7	5.9	3.25	36.4	52.7	10.9	0.0
	生徒会活動	部活動支援状況	22	3.25	37.7	50.9	9.4	1.9	3.25	43.1	41.2	13.7	2.0	3.24	41.2	43.1	13.7	2.0	3.35	49.1	38.2	10.9	1.8
学校行事指導体制		23	3.21	35.8	50.9	11.3	1.9	3.33	41.2	52.9	3.9	2.0	3.24	39.2	45.1	15.7	0.0	3.31	38.2	54.5	7.3	0.0	
教員の資質向上	教員の研修活動	校内外における教員研修	24	2.94	34.6	32.7	25.0	7.7	2.90	27.5	37.3	33.3	2.0	2.67	17.6	39.2	35.3	7.8	2.69	16.4	43.6	32.7	7.3
		教員相互の資質向上体制	25	2.65	14.3	44.9	32.7	8.2	2.71	17.6	41.2	35.3	5.9	2.61	11.8	49.0	27.5	11.8	2.73	16.4	49.1	25.5	9.1
その他	国際化	国際理解																					

注： 3.12 3.11 3.07 3.16  
「評価」は評価基準

評価基準について A(4): そう思う B(3): どちらかといえばそう思う C(2): どちらかといえばそう思わない D(1): そう思わない

2020年度 学校評価 自己点検・評価項目 保護者対象アンケート — 高中別 —

【資料2①】

	設 問 (保護者対象) 20項目	高等学校					中学校					
		評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	
1	学園生活	ご子女は、生き生きとした学校生活を送っていると思われませんか。	3.33	48.2	39.8	9.2	2.9	3.31	49.1	36.2	11.9	2.8
2		保護者として、この学校に入学させて良かったと思われませんか。	3.30	46.3	40.2	10.4	3.1	3.29	42.8	45.3	9.7	2.2
3	教育方針・教育目標	本校の教育方針・教育目標を理解されていますか。	3.13	29.8	56.1	12.3	1.9	3.16	32.1	53.5	12.6	1.9
4	HPの活用	本校のホームページは、教育活動を知るために有効だと思われませんか。	3.04	28.7	50.9	16.7	3.7	3.04	32.3	45.5	17.2	5.0
5	初動対応	事故やトラブルなどに対し、学校は迅速かつ的確な対応が行われていると思われませんか。	3.03	29.5	49.8	15.5	5.2	3.12	32.5	50.0	14.4	3.1
6	避難訓練や安全対策	避難訓練や安全対策など積極的な対策を講じていると思われませんか。	3.08	27.4	55.3	14.6	2.7	3.20	36.4	49.2	12.2	2.2
7	学力向上における組織的な取組	本校は学力向上のために組織的な取組を行っていると思われませんか。	2.95	25.4	49.6	20.1	4.8	3.03	29.5	48.9	17.2	4.4
8	スローラーナーへの対応	習熟度の遅れた生徒へのフォローや補習授業の取組が十分に行われていると思われませんか。	2.78	20.2	45.8	25.9	8.1	2.89	24.4	48.8	18.8	8.1
9	保護者との連携	学校からの連絡や懇談は緊密に行われていると思われませんか。	3.06	32.6	45.2	18.0	4.2	3.18	39.2	44.2	13.5	3.1
10	社会規範の理解とモラルの醸成	学校や社会のルールを遵守させ、生徒としてのマナーやモラルを向上させる取組が行われていると思われませんか。	3.23	35.6	53.1	9.8	1.5	3.12	32.0	51.1	14.1	2.8
11	いじめへの対応	いじめを許さない学校・学級作りに積極的に取り組んでいると思われませんか。	3.12	28.1	57.3	13.3	1.4	3.03	26.3	53.1	17.8	2.8
12	健康な身体づくり	基本的な生活習慣や健康な身体づくり、基礎体力づくりの指導が行われていると思われませんか。	3.27	38.5	51.7	8.4	1.3	3.18	32.5	53.8	12.5	1.3
13	中高大連携事業の実践	高大あるいは中大、中高の学校同士の教育連携が積極的に行われていると思われませんか。	3.16	36.5	45.7	15.4	2.4	3.03	27.5	50.9	18.1	3.4
14	指導方針の一貫性	学校としての明確な方針のもとで生徒指導が行われていると思われませんか。	3.14	33.0	50.6	13.2	3.1	3.06	29.8	49.8	17.2	3.1
15	家庭との連携状況	日頃から家庭への連絡など積極的に意思疎通を図っていると思われませんか。	2.93	27.1	43.9	23.7	5.3	3.01	30.3	43.4	22.8	3.4
16	カウンセリング体制	子供に何らかの問題が生じたとき、担任をはじめとする教員、学校カウンセラーに相談できる体制ができていますか。	2.98	25.7	50.7	19.3	4.3	3.02	29.8	44.8	22.9	2.5
17	進路指導体制	一人ひとりの進路を実現するために、きめ細かな進路指導が行われていると思われませんか。	2.96	28.0	45.3	21.2	5.5	2.88	22.6	48.0	24.8	4.7
18	部活動支援状況	クラブ活動を通して生徒の心身の成長が図られるよう学校全体で支援していると思われませんか。	3.20	41.7	41.0	12.8	4.5	3.10	36.7	42.0	16.0	5.3
19	学校行事指導体制	学校行事に対して生徒が積極的に活動できるよう、学校と保護者が協力して取り組んでいると思われませんか。	3.10	32.9	47.5	16.4	3.2	3.07	29.0	50.8	18.0	2.2
20	教員研修体制	本校の教員は、教材研究や指導力の向上に努めようとしていると思われませんか。	2.99	26.7	49.5	19.7	4.0	3.03	28.4	50.8	18.0	2.8
21	事務室の対応	本校の事務室の対応(窓口・電話)は適切であり、誠意をもって対応していると思われませんか。	3.45	52.8	41.2	4.7	1.3	3.38	47.6	45.0	6.4	1.0

評価平均	2020年度	3.11	3.10
	2019年度	3.02	2.99
	2018年度	2.99	2.95
	2017年度	3.03	2.84
	2016年度	3.01	2.88
	2015年度	2.99	2.88
	2014年度	2.98	2.91
	2013年度	3.00	3.05
	2012年度	2.91	2.98

2020年度 学校評価 自己点検・評価項目

保護者対象アンケート(高校)

—過去4力年比較—

【資料2-1】

				高等学校																			
				2017年度					2018年度					2019年度					2020年度				
分類	大項目	NO	小項目	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D
学校生活	満足度	○ 1	学園生活	3.34	48.6	38.3	11.4	1.7	3.29	46.5	38.7	12.1	2.7	3.31	48.4	37.3	11.4	2.8	3.33	48.2	39.8	9.2	2.9
		○ 2		3.33	48.4	38.9	10.2	2.5	3.23	43.1	40.2	13.7	3.0	3.23	42.9	40.3	13.5	3.3	3.30	46.3	40.2	10.4	3.1
学校運営	私学の独自性	○ 3	教育方針・教育目標	3.06	25.2	58.3	14.0	2.5	3.00	23.2	56.3	17.6	2.9	2.99	24.0	54.3	17.9	3.8	3.13	29.8	56.1	12.3	1.9
	情報公開	○ 4	HPの活用	2.81	18.0	53.6	20.0	8.4	2.79	20.2	48.8	22.5	8.5	2.88	24.2	46.5	22.0	7.3	3.04	28.7	50.9	16.7	3.7
	危機管理	○ 5	初動対応	3.01	24.3	57.2	14.0	4.5	2.70	19.6	44.1	24.8	11.5	2.84	23.2	46.9	21.4	8.5	3.03	29.5	49.8	15.5	5.2
○ 6		避難訓練や安全対策	2.88	21.1	51.5	22.3	5.1	2.87	18.3	55.3	21.5	5.0	2.90	20.9	53.2	21.4	4.5	3.08	27.4	55.3	14.6	2.7	
教育内容	知育	○ 7	学力向上における組織的な取組	2.85	21.8	48.3	23.0	6.9	2.83	23.0	43.8	26.8	6.4	2.81	21.7	44.5	27.2	6.6	2.95	25.4	49.6	20.1	4.8
		○ 8	スローラーナーへの対応	2.68	16.5	43.8	30.6	9.1	2.62	14.3	43.1	32.9	9.7	2.63	16.1	41.4	32.9	9.6	2.78	20.2	45.8	25.9	8.1
		○ 9	保護者との連携	3.01	28.5	48.5	18.6	4.3	2.96	27.6	46.4	20.7	5.3	2.98	30.5	42.7	21.6	5.2	3.06	32.6	45.2	18.0	4.2
	徳育	○ 10	社会規範の理解とモラルの醸成	3.16	31.6	55.6	10.6	2.2	3.10	30.3	52.4	14.1	3.1	3.15	33.7	50.4	13.9	2.0	3.23	35.6	53.1	9.8	1.5
		○ 11	いじめへの対応	3.05	24.9	58.7	13.5	2.9	3.04	24.4	57.7	15.7	2.3	3.05	26.4	54.4	16.8	2.4	3.12	28.1	57.3	13.3	1.4
	○ 12	健康的な身体づくり	3.23	36.3	51.8	10.7	1.2	3.21	36.3	50.3	11.6	1.7	3.21	36.0	51.5	10.8	1.7	3.27	38.5	51.7	8.4	1.3	
○ 13	学校間連携	3.15	33.5	50.6	13.5	2.4	3.08	31.9	47.7	17.3	3.0	3.12	34.0	48.1	14.6	3.4	3.16	36.5	45.7	15.4	2.4		
生徒指導・生徒支援	生徒指導	○ 14	指導方針の一貫性	3.04	27.7	52.4	16.8	3.1	2.98	24.0	53.8	18.6	3.6	3.00	26.3	52.0	17.2	4.5	3.14	33.0	50.6	13.2	3.1
		○ 15	家庭との連携状況	2.80	20.4	46.0	27.2	6.4	2.76	19.1	45.7	28.5	6.7	2.88	24.7	43.9	25.9	5.4	2.93	27.1	43.9	23.7	5.3
	○ 16	カウンセリング体制	2.46	24.4	24.5	25.7	25.4	2.80	17.5	50.6	26.8	5.1	2.85	21.4	48.1	25.1	5.4	2.98	25.7	50.7	19.3	4.3	
	○ 17	進路指導体制	2.91	25.2	46.9	21.5	6.3	2.89	23.7	47.8	22.3	6.2	2.88	24.8	45.8	23.0	6.4	2.96	28.0	45.3	21.2	5.5	
	生徒会活動	○ 18	部活動支援状況	3.11	38.2	40.9	15.3	5.6	3.18	39.6	43.1	13.9	3.5	3.17	41.0	40.2	14.3	4.6	3.20	41.7	41.0	12.8	4.5
○ 19		学校行事指導体制	3.15	32.3	52.4	12.9	2.4	3.18	35.5	49.0	13.2	2.3	3.15	33.7	50.0	13.8	2.5	3.10	32.9	47.5	16.4	3.2	
教員研修	教員の研修活動	○ 20	教員研修体制	2.84	19.9	50.2	24.2	5.7	2.87	19.8	51.7	24.1	4.4	2.93	24.1	50.0	21.1	4.8	2.99	26.7	49.5	19.7	4.0
その他	窓口対応	○ 21	事務室の対応	3.37	46.4	46.1	5.5	2.0	3.32	44.0	47.0	6.6	2.4	3.37	48.7	41.4	8.0	1.9	3.45	52.8	41.2	4.7	1.3

注：○は併設校共通項目

3.01

2.99

3.02

3.11

評価基準について

A: そう思う B: どちらかといえばそう思う C: どちらかといえばそう思わない D: そう思わない

2020年度 学校評価 自己点検・評価項目

保護者対象アンケート(中学校)

—過去4カ年比較—

【資料2-2】

				中学校																			
				2017年度					2018年度					2019年度					2020年度				
分類	大項目	NO	小項目	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D
学校生活	満足度	○ 1	学園生活	3.30	44.7	43.2	9.6	2.4	3.17	39.0	43.0	13.7	4.3	3.26	41.7	45.5	10.3	2.6	3.31	49.1	36.2	11.9	2.8
		○ 2		3.18	38.6	44.9	12.6	3.9	3.04	32.5	45.7	15.3	6.4	3.08	32.7	46.2	17.6	3.5	3.29	42.8	45.3	9.7	2.2
学校運営	私学の独自性	○ 3	教育方針・教育目標	3.07	22.5	62.8	12.9	1.8	3.08	25.7	59.6	11.9	2.8	3.03	25.0	55.4	17.0	2.6	3.16	32.1	53.5	12.6	1.9
	情報公開	○ 4	HPの活用	2.88	24.0	49.2	18.2	8.5	2.93	26.5	45.1	22.6	5.8	3.04	29.9	49.2	17.0	3.9	3.04	32.3	45.5	17.2	5.0
	危機管理	○ 5	初動対応	2.88	23.5	47.9	21.1	7.5	2.73	22.4	42.6	21.8	13.2	2.93	24.4	49.7	20.5	5.4	3.12	32.5	50.0	14.4	3.1
○ 6		避難訓練や安全対策	2.81	17.5	50.6	26.2	5.7	2.94	23.1	53.4	17.3	6.2	3.05	26.7	56.3	13.8	3.2	3.20	36.4	49.2	12.2	2.2	
教育内容	知 育	○ 7	学力向上における組織的な取組	2.74	18.5	46.9	23.6	11.0	2.87	23.1	46.5	23.4	7.0	2.78	16.1	54.0	22.2	7.7	3.03	29.5	48.9	17.2	4.4
		○ 8	スローラーナーへの対応	2.63	20.3	34.3	31.9	13.4	2.72	17.4	44.3	30.3	8.0	2.64	15.8	42.8	32.2	9.3	2.89	24.4	48.8	18.8	8.1
		○ 9	保護者との連携	2.94	23.9	49.0	23.6	3.6	2.98	26.0	50.8	18.7	4.6	3.06	29.2	51.3	16.3	3.2	3.18	39.2	44.2	13.5	3.1
	徳 育	○ 10	社会規範の理解とモラルの醸成	3.03	24.3	56.6	17.4	1.8	2.93	24.1	52.4	16.8	6.7	3.05	26.0	55.4	16.3	2.2	3.12	32.0	51.1	14.1	2.8
		○ 11	いじめへの対応	2.94	24.3	50.9	19.2	5.7	2.88	21.3	53.0	18.3	7.3	2.91	19.6	54.5	23.7	2.2	3.03	26.3	53.1	17.8	2.8
	体 育	○ 12	健康な身体づくり	3.18	31.3	56.3	11.0	1.5	3.16	32.8	53.1	11.0	3.1	3.13	28.9	57.9	10.9	2.3	3.18	32.5	53.8	12.5	1.3
学校間連携	○ 13	中高大連携事業の実践	3.08	29.5	52.7	14.8	3.0	3.09	32.1	48.8	16.0	3.1	3.02	25.4	54.7	17.7	2.3	3.03	27.5	50.9	18.1	3.4	
生徒指導・生徒支援	生徒指導	○ 14	指導方針の一貫性	2.93	23.1	52.1	20.7	4.2	2.91	22.3	52.7	18.3	6.7	2.88	19.9	53.5	21.8	4.8	3.06	29.8	49.8	17.2	3.1
		○ 15	家庭との連携状況	2.82	18.0	51.4	25.5	5.1	2.91	24.8	46.5	24.2	4.6	2.90	21.5	51.3	23.4	3.8	3.01	30.3	43.4	22.8	3.4
	カウンセリング	○ 16	カウンセリング体制	2.40	24.9	23.1	19.8	32.1	2.82	19.8	50.0	23.5	6.7	2.85	19.3	50.8	26.7	3.2	3.02	29.8	44.8	22.9	2.5
	進路指導	○ 17	進路指導体制	2.57	11.1	44.9	34.0	9.9	2.69	14.7	48.3	29.1	8.0	2.73	15.2	50.6	28.4	5.8	2.88	22.6	48.0	24.8	4.7
	生徒会活動	○ 18	部活動支援状況	2.75	22.2	41.7	25.2	10.8	2.82	22.0	46.8	22.6	8.6	2.94	25.4	50.2	18.3	6.1	3.10	36.7	42.0	16.0	5.3
○ 19		学校行事指導体制	3.05	28.1	52.2	16.4	3.3	3.10	30.8	50.3	15.9	3.0	3.18	32.1	54.5	12.5	1.0	3.07	29.0	50.8	18.0	2.2	
教員研修	教員の研修活動	○ 20	教員研修体制	2.74	15.7	49.1	28.3	6.9	2.89	22.8	49.2	22.5	5.5	2.88	19.9	54.3	19.9	5.8	3.03	28.4	50.8	18.0	2.8
その他	窓口対応	○ 21	事務室の対応	3.37	47.4	44.6	7.0	0.9	3.34	46.9	44.4	6.2	2.5	3.35	44.9	46.2	7.7	1.3	3.38	47.6	45.0	6.4	1.0

注：○は併設校共通項目

2.92

2.95

2.99

3.10

評価基準について

A: そう思う B: どちらかといえばそう思う C: どちらかといえばそう思わない D: そう思わない

2020年度 学校評価 自己点検・評価項目 生徒対象アンケート ー高中別ー

【資料2②】

小項目	設 問 (生徒対象) 20項目	高等学校全体				中学校全体						
		評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	
1	学園生活	学校生活は楽しいと感じていますか。	3.36	52.5	34.6	9.6	3.3	3.42	56.3	33.5	6.5	3.7
2		この学校に入学して良かったと思いますか。	3.13	39.5	39.4	15.9	5.1	3.27	43.6	43.3	9.5	3.7
3	教育方針・教育目標	本校の教育方針を理解していますか。	2.84	25.0	42.5	23.5	9.0	2.98	26.4	50.9	16.6	6.1
4	HPの活用	本校のホームページは、学校行事などの必要な情報がタイムリーに更新されていますか。	2.87	28.9	40.0	20.8	10.3	3.11	38.8	39.1	16.5	5.5
5	初動対応	事故やトラブルなどに対し、学校は迅速かつ的確な対応が行われていると思いますか。	2.86	29.2	38.8	20.6	11.4	3.15	41.6	37.0	16.5	4.9
6	避難訓練や安全対策	事故、事件、災害が発生したとき、どのように行動すれば良いのか、指示を受けていますか。	3.21	42.0	40.6	13.7	3.7	3.39	50.3	40.2	7.6	1.8
7	学力向上における組織的な取組	授業を通じ、自分の学力は向上していると感じていますか。	3.06	32.7	45.1	17.5	4.7	3.22	41.0	43.8	11.6	3.6
8	スローラーナーへの対応	成績が低迷した場合、補習授業で適切なフォローをもらえる仕組みがあると感じていますか。	3.02	32.4	42.9	19.0	5.7	3.33	49.7	36.0	11.9	2.4
9	保護者との連携	自分の学習状況を保護者も把握していると思いますか。	3.19	41.7	39.7	14.1	4.5	3.31	47.0	39.3	11.3	2.4
10	社会規範の理解とモラルの醸成	生徒としてのマナーやモラル向上のための指導によって、規範意識が昨年より高まったと思いますか。	3.14	36.3	45.7	14.2	3.9	3.23	44.0	38.8	13.5	3.7
11	いじめへの対応	いじめを許さない指導が日常的に行われていると思いますか。	3.05	35.2	41.2	17.7	6.0	3.03	37.8	35.1	19.5	7.6
12	健康な身体づくり	基本的な生活習慣や健康な身体づくり、基礎体力づくりの仕方を学びましたか。	3.34	48.4	39.8	9.5	2.2	3.39	50.5	39.4	8.3	1.8
13	中高大連携事業の実践	高大あるいは中大、中高の学校同士の教育連携があると思いますか。	3.25	46.0	37.1	12.7	4.2	3.30	49.2	35.9	10.6	4.3
14	指導方針の一貫性	守るべき学校のルールやマナーについて、よくわかるように説明と指導を受けていますか。	3.18	41.1	40.8	12.9	5.2	3.28	48.9	35.5	10.7	4.9
15	家庭との連携状況	日頃から家庭への連絡など積極的に意思疎通を図っていると思いますか。	3.09	37.0	40.5	17.3	5.2	3.20	39.0	45.1	12.8	3.0
16	カウンセリング体制	悩みが生じたときに、担任をはじめとする教員、学校カウンセラーに相談できる体制ができていますか。	3.08	36.0	41.3	17.6	5.1	3.09	38.4	38.1	17.1	6.4
17	進路指導体制	生徒一人ひとりの進路を実現させるために、きめ細かな進路指導を行っていると思いますか。	3.21	43.0	38.9	13.9	4.2	3.16	38.3	43.8	13.4	4.6
18	部活動支援状況	クラブ活動を通して生徒の成長が図られるよう学校全体で支援していると思いますか。	3.30	49.1	36.4	10.1	4.4	3.29	49.8	32.8	13.4	4.0
19	学校行事指導体制	学園祭などの学校行事に対して、生徒が積極的に活動できるように配慮していると感じますか。	3.31	47.9	38.2	10.9	3.1	3.36	50.0	37.8	10.7	1.5
20	校内外における教員研修	工夫された授業やおもしろい実験などが取り入れられていると思いますか。	2.96	32.2	39.6	20.2	8.0	3.25	48.0	33.6	13.8	4.6
21	学習環境	本校の施設・設備において、学習、生活、クラブなどの環境は整っていると思いますか。	3.44	56.9	32.9	7.1	3.0	3.45	58.0	31.0	8.8	2.2

評価平均 2020年度 3.14

3.25

2019年度 3.02

3.13

2018年度 2.99

3.02

2017年度 3.00

2.88

2016年度 3.00

2.88

2015年度 2.96

2.93

2014年度 2.90

2.89

2013年度 2.87

2.80

2012年度 2.82

2.93

2011年度 2.62

2.89

2020年度 学校評価（生徒対象）アンケート（高校） —3カ年の推移—

【資料2-3】

分類	大項目	NO	小項目	2018年度					学年別評価			2019年度					学年別評価			2020年度					学年別評価		
				評価	A	B	C	D	1年	2年	3年	評価	A	B	C	D	1年	2年	3年	評価	A	B	C	D	1年	2年	3年
学校生活	満足度	○ 1	学園生活	3.29	47.2	38.6	9.8	4.4	3.30	3.17	3.40	3.32	50.5	35.2	10.5	3.8	3.25	3.33	3.39	3.36	52.5	34.6	9.6	3.3	3.26	3.33	3.49
		○ 2		2.95	31.6	41.6	17.4	9.4	3.00	2.79	3.08	2.95	30.8	41.8	19.4	7.9	2.83	2.94	3.08	3.13	39.5	39.4	15.9	5.1	3.02	3.05	3.31
学校運営	私学の独自性	○ 3	教育方針・教育目標	2.70	19.6	42.4	26.7	11.3	2.74	2.65	2.71	2.73	21.3	41.2	26.9	10.6	2.62	2.81	2.74	2.84	25.0	42.5	23.5	9.0	2.67	2.75	3.06
	情報公開	○ 4	HPの活用	2.56	20.4	34.3	26.5	18.8	2.62	2.46	2.61	2.68	23.4	35.9	26.7	14.0	2.87	2.51	2.69	2.87	28.9	40.0	20.8	10.3	2.92	2.78	2.92
	危機管理	○ 5	初動対応	2.50	21.6	30.3	24.9	23.3	2.51	2.40	2.59	2.58	21.9	33.8	25.8	18.5	2.70	2.49	2.58	2.86	29.2	38.8	20.6	11.4	2.96	2.72	2.89
		○ 6	避難訓練や安全対策	2.97	32.3	41.2	18.2	8.3	2.92	2.92	3.09	3.06	34.9	42.3	17.1	5.7	3.05	3.05	3.09	3.21	42.0	40.6	13.7	3.7	3.17	3.16	3.28
教育内容	知 育	○ 7	学力向上における組織的な取組	2.87	24.7	44.1	24.5	6.7	2.93	2.74	2.93	2.87	23.7	47.5	21.3	7.6	2.73	2.93	2.94	3.06	32.7	45.1	17.5	4.7	2.86	3.01	3.28
		○ 8	スローラーナーへの対応	2.86	26.2	41.7	24.4	7.7	2.89	2.80	2.90	2.81	25.1	40.5	24.9	9.5	2.68	2.82	2.93	3.02	32.4	42.9	19.0	5.7	2.84	2.89	3.30
		○ 9	保護者との連携	3.10	37.5	41.2	15.3	6.0	3.19	3.05	3.05	3.12	39.3	38.8	16.7	5.1	3.16	3.13	3.09	3.19	41.7	39.7	14.1	4.5	3.08	3.24	3.24
	徳 育	○ 10	社会規範の理解とモラルの醸成	2.97	29.3	44.9	19.4	6.4	3.04	2.86	3.00	3.06	31.9	46.8	16.6	4.7	3.02	3.10	3.05	3.14	36.3	45.7	14.2	3.9	3.04	3.07	3.30
		○ 11	いじめへの対応	3.00	31.9	42.6	18.8	6.7	3.09	2.87	3.04	3.00	33.4	40.3	19.2	7.1	2.86	3.05	3.08	3.05	35.2	41.2	17.7	6.0	2.92	2.95	3.27
	体 育	○ 12	健康な身体づくり	3.19	39.7	44.1	12.0	4.2	3.22	3.11	3.25	3.25	42.3	42.9	12.5	2.3	3.21	3.21	3.34	3.34	48.4	39.8	9.5	2.2	3.32	3.26	3.44
		○ 13	中高大連携事業の実践	3.16	39.8	41.2	13.8	5.2	3.24	3.04	3.18	3.18	41.0	40.7	13.3	5.0	3.27	3.15	3.11	3.25	46.0	37.1	12.7	4.2	3.12	3.21	3.40
生徒指導・生徒支援	生徒指導	○ 14	指導方針の一貫性	3.09	34.1	46.3	14.6	5.0	3.17	2.97	3.15	3.08	34.8	43.6	16.7	5.0	2.98	3.15	3.09	3.18	41.1	40.8	12.9	5.2	3.10	3.06	3.35
		○ 15	家庭との連携状況	2.91	29.1	40.7	22.3	7.9	3.01	2.75	2.97	2.97	30.2	43.7	19.5	6.5	2.94	3.03	2.94	3.09	37.0	40.5	17.3	5.2	2.94	3.05	3.27
	カウンセリング	○ 16	カウンセリング体制	2.91	28.1	42.8	21.7	7.5	2.91	2.80	3.02	2.93	28.7	42.9	21.6	6.8	2.86	2.95	2.98	3.08	36.0	41.3	17.6	5.1	2.86	3.05	3.31
	進路指導	○ 17	進路指導体制	3.04	33.2	44.3	16.0	6.6	3.11	2.94	3.07	3.03	33.3	43.1	17.7	6.0	2.95	3.06	3.09	3.21	43.0	38.9	13.9	4.2	3.06	3.14	3.40
		○ 18	部活動支援状況	3.17	43.5	38.3	10.1	8.0	3.26	3.04	3.22	3.22	44.1	39.0	12.2	4.6	3.18	3.18	3.32	3.30	49.1	36.4	10.1	4.4	3.21	3.21	3.48
生徒会活動	○ 19	学校行事指導体制	3.26	45.7	39.4	10.7	4.2	3.37	3.13	3.29	3.27	45.8	38.9	11.9	3.4	3.22	3.29	3.29	3.31	47.9	38.2	10.9	3.1	3.21	3.22	3.48	
	○ 20	教員研修体制	2.83	26.9	38.9	24.4	9.8	2.84	2.67	2.98	2.82	25.6	41.0	23.4	10.1	2.64	2.91	2.89	2.96	32.2	39.6	20.2	8.0	2.71	2.88	3.26	
その他	校内環境	○ 21	学習環境	3.35	51.7	35.8	8.2	4.2	3.46	3.24	3.35	3.42	55.6	33.8	7.6	2.9	3.42	3.40	3.45	3.44	56.9	32.9	7.1	3.0	3.33	3.37	3.59

注：○は併設校共通項目

評価基準について

A(4): そう思う B(3): どちらかといえばそう思う C(2): どちらかといえばそう思わない D(1): そう思わない

2020年度 学校評価(生徒対象)アンケート (中学校) —3カ年の推移—

【資料2-4】

分類	大項目	NO	小項目	2018年度(全学年)					学年別評価			2019年度(全学年)					学年別評価			2020年度(全学年)					学年別評価			
				評価	A	B	C	D	1年	2年	3年	評価	A	B	C	D	1年	2年	3年	評価	A	B	C	D	1年	2年	3年	
学校生活	満足度	○	1	学園生活	3.27	48.5	36.6	9.0	5.8	3.30	3.34	3.18	3.37	52.1	36.0	8.3	3.6	3.54	3.34	3.18	3.42	56.3	33.5	6.5	3.7	3.64	3.34	3.30
		○	2		2.96	32.7	40.8	17.1	9.5	3.22	3.09	2.59	3.19	41.8	39.4	15.5	3.3	3.40	3.09	2.59	3.27	43.6	43.3	9.5	3.7	3.61	3.11	3.08
学校運営	私学の独自性	○	3	教育方針・教育目標	2.82	24.0	44.2	22.2	9.6	2.88	2.88	2.70	2.83	23.8	44.0	23.5	8.6	3.05	2.88	2.70	2.98	26.4	50.9	16.6	6.1	3.08	2.99	2.85
	情報公開	○	4	HPの活用	2.86	29.2	38.4	23.1	9.2	2.93	2.89	2.77	2.99	35.7	36.6	18.2	9.5	3.19	2.89	2.77	3.11	38.8	39.1	16.5	5.5	3.33	3.15	2.86
	危機管理	○	5	初動対応	2.85	29.1	40.3	18.2	12.4	3.05	2.83	2.70	2.91	31.5	37.8	20.5	10.1	3.19	2.83	2.70	3.15	41.6	37.0	16.5	4.9	3.49	3.15	2.83
		○	6	避難訓練や安全対策	3.16	41.8	38.3	14.7	5.2	3.14	3.23	3.11	3.29	47.0	37.5	12.8	2.7	3.36	3.23	3.11	3.39	50.3	40.2	7.6	1.8	3.66	3.33	3.18
教育内容	知育	○	7	学力向上における組織的な取組	2.92	27.3	45.1	20.6	7.0	2.98	3.08	2.71	3.14	36.6	44.6	15.2	3.6	3.23	3.08	2.71	3.22	41.0	43.8	11.6	3.6	3.30	3.25	3.11
		○	8	スローラーナーへの対応	3.05	35.9	41.2	15.4	7.5	3.09	3.17	2.89	3.20	42.3	40.2	12.5	5.1	3.30	3.17	2.89	3.33	49.7	36.0	11.9	2.4	3.55	3.39	3.05
		○	9	保護者との連携	3.14	38.6	42.7	13.5	5.2	3.21	3.14	3.07	3.27	47.0	37.5	10.7	4.8	3.51	3.14	3.07	3.31	47.0	39.3	11.3	2.4	3.51	3.32	3.09
	徳育	○	10	社会規範の理解とモラルの醸成	2.93	28.3	44.8	19.4	7.5	3.05	2.98	2.77	3.10	33.9	47.0	14.0	5.1	3.23	2.98	2.77	3.23	44.0	38.8	13.5	3.7	3.50	3.24	2.95
		○	11	いじめへの対応	2.71	24.8	37.5	22.5	15.3	2.95	2.81	2.39	2.89	31.3	37.5	20.2	11.0	3.02	2.81	2.39	3.03	37.8	35.1	19.5	7.6	3.34	2.98	2.77
	体育	○	12	健康な身体づくり	3.16	38.4	43.6	14.8	3.2	3.16	3.18	3.15	3.28	45.2	39.6	12.8	2.4	3.46	3.18	3.15	3.39	50.5	39.4	8.3	1.8	3.59	3.40	3.17
	学校間連携	○	13	中高大連携事業の実践	3.28	48.1	36.6	11.0	4.3	3.26	3.42	3.15	3.34	50.3	36.6	9.5	3.6	3.42	3.42	3.15	3.30	49.2	35.9	10.6	4.3	3.37	3.50	3.04
生徒指導・生徒支援	生徒指導	○	14	指導方針の一貫性	3.10	37.6	41.6	13.6	7.2	3.14	3.19	2.97	3.16	38.1	44.9	12.2	4.8	3.30	3.19	2.97	3.28	48.9	35.5	10.7	4.9	3.64	3.21	3.01
		○	15	家庭との連携状況	2.97	30.8	43.5	17.9	7.8	3.02	3.01	2.90	3.06	33.6	42.6	19.6	4.2	3.27	3.01	2.90	3.20	39.0	45.1	12.8	3.0	3.41	3.17	3.02
	カウンセリング	○	16	カウンセリング体制	2.76	25.1	38.3	25.4	11.2	2.75	2.71	2.83	2.82	26.2	40.8	22.3	10.7	2.91	2.71	2.83	3.09	38.4	38.1	17.1	6.4	3.38	3.05	2.83
	進路指導	○	17	進路指導体制	2.85	29.3	38.6	21.2	11.0	2.87	2.94	2.75	3.02	32.7	41.4	20.8	5.1	3.01	2.94	2.75	3.16	38.3	43.8	13.4	4.6	3.39	3.15	2.94
	生徒会活動	○	18	部活動支援状況	2.99	35.7	38.6	15.9	9.9	3.19	2.96	2.84	3.16	42.6	37.2	13.7	6.5	3.28	2.96	2.84	3.29	49.8	32.8	13.4	4.0	3.47	3.32	3.06
○		19	学校行事指導体制	3.23	43.2	40.9	12.2	3.8	3.27	3.30	3.11	3.36	51.5	36.0	9.8	2.7	3.50	3.30	3.11	3.36	50.0	37.8	10.7	1.5	3.66	3.29	3.14	
教員研修	教員の研修活動	○	20	教員研修体制	3.07	39.4	35.9	18.1	6.7	3.15	3.16	2.92	3.06	35.4	43.8	11.9	8.9	3.03	3.16	2.92	3.25	48.0	33.6	13.8	4.6	3.58	3.23	2.94
その他	校内環境	○	21	学習環境	3.34	53.8	32.9	6.9	6.3	3.36	3.32	3.35	3.39	56.0	31.3	8.4	4.2	3.47	3.32	3.35	3.45	58.0	31.0	8.8	2.2	3.71	3.34	3.30

注：○は併設校共通項目

評価基準について 4: そう思う 3: どちらかといえばそう思う 2: どちらかといえばそう思わない 1: そう思わない

2020年度 授業評価分析資料(教科別)

2020年11月実施

関西大学北陽高等学校・中学校

【資料3-1】

設問\評価	国語					社会					数学					理科					英語				
	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D
自己評価	3.36→3.35→3.34→3.50→3.47					3.45→3.44→3.45→3.51→3.64					3.27→3.36→3.39→3.46→3.48					3.45→3.39→3.57→3.44→3.57					3.26→3.30→3.36→3.45→3.53				
1	3.63	68.1%	27.0%	4.8%	0.1%	3.75	77.7%	19.7%	2.5%	0.1%	3.67	71.0%	25.4%	3.4%	0.2%	3.70	73.4%	23.3%	3.0%	0.2%	3.68	72.3%	23.4%	3.8%	0.5%
2	3.57	63.9%	29.6%	6.0%	0.5%	3.78	80.9%	16.7%	2.1%	0.3%	3.49	58.6%	32.1%	8.6%	0.7%	3.58	66.0%	27.1%	6.1%	0.8%	3.59	65.9%	28.3%	4.8%	0.9%
3	3.22	48.2%	30.6%	16.0%	5.2%	3.38	58.4%	26.6%	9.5%	5.5%	3.28	49.5%	33.2%	13.1%	4.2%	3.42	57.9%	29.4%	9.7%	3.0%	3.32	52.8%	30.5%	13.0%	3.8%
授業評価	3.47→3.49→3.45→3.61→3.57					3.52→3.50→3.59→3.65→3.75					3.43→3.48→3.46→3.62→3.64					3.58→3.60→3.74→3.62→3.61					3.42→3.37→3.49→3.63→3.67				
4	3.58	69.7%	21.3%	6.0%	3.0%	3.80	82.4%	15.2%	1.9%	0.4%	3.65	73.0%	21.4%	3.5%	2.1%	3.61	72.6%	18.5%	5.9%	3.0%	3.76	81.4%	14.3%	3.2%	1.2%
5	3.63	69.7%	25.4%	3.5%	1.4%	3.81	83.7%	13.9%	2.1%	0.3%	3.73	75.8%	21.5%	2.2%	0.5%	3.69	76.9%	16.6%	5.1%	1.4%	3.72	77.7%	17.6%	3.9%	0.8%
6	3.53	63.9%	27.2%	6.9%	2.0%	3.72	77.2%	18.5%	3.7%	0.6%	3.58	66.9%	25.2%	6.5%	1.4%	3.57	70.4%	19.2%	6.9%	3.4%	3.64	71.8%	21.8%	4.8%	1.6%
7	3.54	67.5%	22.2%	7.2%	3.1%	3.72	77.4%	18.3%	3.3%	1.0%	3.63	71.2%	22.7%	4.3%	1.7%	3.59	70.4%	20.9%	5.9%	2.8%	3.64	75.6%	16.6%	4.2%	3.6%
8	3.58	67.9%	23.8%	6.4%	1.9%	3.75	79.0%	17.6%	2.5%	0.9%	3.70	73.1%	23.8%	2.4%	0.6%	3.70	77.3%	17.2%	3.8%	1.6%	3.72	77.5%	18.4%	2.9%	1.5%
9	3.56	66.5%	24.9%	6.5%	2.0%	3.72	78.4%	16.9%	3.1%	1.6%	3.68	74.0%	20.8%	4.3%	0.9%	3.60	72.1%	18.4%	6.5%	3.0%	3.66	74.4%	19.0%	5.2%	1.5%
10	3.61	70.9%	21.3%	6.0%	1.8%	3.79	81.8%	15.4%	2.4%	0.4%	3.71	74.9%	21.5%	2.9%	0.7%	3.68	75.7%	18.8%	3.2%	2.2%	3.71	76.7%	18.5%	3.6%	1.2%
11	3.61	68.1%	26.2%	4.2%	1.6%	3.78	80.5%	17.2%	2.4%	0.0%	3.73	76.5%	20.8%	2.1%	0.6%	3.71	77.3%	17.8%	3.2%	1.6%	3.73	78.1%	18.0%	3.2%	0.8%
12	3.62	70.4%	22.9%	5.3%	1.4%	3.80	82.7%	15.2%	1.9%	0.1%	3.71	74.3%	22.7%	2.3%	0.7%	3.56	69.4%	19.8%	7.9%	2.8%	3.70	74.7%	20.9%	3.6%	0.7%
13	3.63	71.6%	21.1%	5.5%	1.8%	3.73	79.1%	15.7%	4.5%	0.7%	3.62	69.2%	25.1%	4.5%	1.2%	3.66	75.5%	17.8%	4.1%	2.6%	3.68	76.1%	17.8%	4.4%	1.6%
14	3.51	63.9%	25.9%	7.4%	2.8%	3.70	75.1%	20.1%	4.0%	0.7%	3.42	56.8%	30.5%	10.4%	2.3%	3.50	66.9%	20.5%	8.7%	3.9%	3.54	66.0%	24.5%	6.9%	2.6%
15	3.52	63.9%	27.0%	6.1%	3.0%	3.73	78.0%	18.0%	3.1%	0.9%	3.57	65.5%	28.0%	4.9%	1.6%	3.59	72.3%	17.5%	6.7%	3.5%	3.64	71.8%	21.9%	4.4%	1.9%
16	3.55	65.9%	25.1%	6.8%	2.2%	3.74	78.4%	18.2%	2.5%	0.9%	3.58	66.2%	27.2%	4.9%	1.8%	3.54	67.4%	23.1%	5.8%	3.7%	3.63	70.8%	22.4%	5.2%	1.5%

設問\評価	保健体育					芸術					情報					技術・家庭				
	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D
自己評価	3.56→3.71→3.64→3.71→3.74					3.65→3.58→3.55→3.37→3.75					3.77→3.77→3.80→3.84→3.92					3.68→3.60→3.68→3.74→3.66				
1	3.84	85.9%	12.3%	1.2%	0.5%	3.84	85.3%	13.2%	1.5%	0.0%	3.97	96.6%	3.4%	0.0%	0.0%	3.75	77.6%	19.4%	3.0%	0.0%
2	3.82	84.7%	13.5%	1.2%	0.5%	3.90	91.2%	7.4%	1.5%	0.0%	3.95	96.6%	1.7%	1.7%	0.0%	3.78	80.6%	16.4%	3.0%	0.0%
3	3.55	66.1%	25.2%	6.8%	1.9%	3.51	57.4%	36.8%	5.9%	0.0%	3.83	86.4%	10.2%	3.4%	0.0%	3.45	55.2%	34.3%	10.4%	0.0%
授業評価	3.62→3.74→3.72→3.75→3.80					3.69→3.46→3.66→3.44→3.80					3.80→3.70→3.80→3.89→3.94					3.72→3.68→3.72→3.73→3.62				
4	3.79	83.2%	13.1%	2.9%	0.8%	3.68	73.5%	22.1%	2.9%	1.5%	4.00	####	0.0%	0.0%	0.0%	3.70	80.6%	13.4%	1.5%	4.5%
5	3.83	84.7%	14.1%	0.7%	0.5%	3.78	77.9%	22.1%	0.0%	0.0%	3.95	94.9%	5.1%	0.0%	0.0%	3.66	77.6%	13.4%	6.0%	3.0%
6	3.79	81.3%	16.4%	2.0%	0.3%	3.82	82.4%	17.6%	0.0%	0.0%	3.85	84.7%	15.3%	0.0%	0.0%	3.55	68.7%	22.4%	4.5%	4.5%
7	3.80	83.1%	14.5%	1.9%	0.5%	3.68	75.0%	19.1%	4.4%	1.5%	3.97	96.6%	3.4%	0.0%	0.0%	3.43	59.7%	29.9%	4.5%	6.0%
8	3.83	85.3%	13.3%	1.1%	0.4%	3.82	82.4%	17.6%	0.0%	0.0%	3.97	96.6%	3.4%	0.0%	0.0%	3.61	70.1%	22.4%	6.0%	1.5%
9	3.83	86.1%	11.5%	1.6%	0.8%	3.79	80.9%	17.6%	1.5%	0.0%	3.98	98.3%	1.7%	0.0%	0.0%	3.67	76.1%	17.9%	3.0%	3.0%
10	3.84	85.8%	12.4%	1.5%	0.3%	3.87	88.2%	10.3%	1.5%	0.0%	3.97	96.6%	3.4%	0.0%	0.0%	3.64	74.6%	17.9%	4.5%	3.0%
11	3.80	82.4%	15.7%	1.4%	0.5%	3.82	85.3%	13.2%	0.0%	1.5%	3.92	93.2%	5.1%	1.7%	0.0%	3.69	74.6%	20.9%	3.0%	1.5%
12	3.84	85.8%	12.3%	1.6%	0.3%	3.82	83.8%	14.7%	1.5%	0.0%	3.93	93.2%	6.8%	0.0%	0.0%	3.72	76.1%	19.4%	4.5%	0.0%
13	3.75	79.0%	17.6%	2.8%	0.5%	3.84	85.3%	13.2%	1.5%	0.0%	3.93	93.2%	6.8%	0.0%	0.0%	3.55	62.7%	32.8%	1.5%	3.0%
14	3.79	81.7%	15.9%	2.0%	0.4%	3.82	83.8%	14.7%	1.5%	0.0%	3.95	94.9%	5.1%	0.0%	0.0%	3.69	73.1%	22.4%	4.5%	0.0%
15	3.80	82.2%	15.8%	1.8%	0.3%	3.81	82.4%	16.2%	1.5%	0.0%	3.90	91.5%	6.8%	1.7%	0.0%	3.60	68.7%	23.9%	6.0%	1.5%
16	3.77	79.4%	18.5%	1.8%	0.3%	3.85	86.4%	12.1%	1.5%	0.0%	3.93	94.6%	3.6%	1.8%	0.0%	3.52	67.2%	20.9%	9.0%	3.0%

※自己評価と授業評価  
黄色の帯のところは、過去5年間の推移  
2016年→2017年→2018年→2019年→2020

※A～Dの数値は構成比  
単位は%



No.	設 問 △は実習科目における設問	高等学校					中学校				
		評価	A(4)	B(3)	C(2)	D(1)	評価	A(4)	B(3)	C(2)	D(1)
生徒自身の自己評価		自己評価平均値: 3.60 (昨年 3.43)					自己評価平均値: 3.48 (昨年 3.12)				
1	あなたはこの授業にまじめに出席し、意欲的に取り組みましたか。	3.74	76.9%	20.3%	2.6%	0.3%	3.63	68.9%	26.0%	4.7%	0.4%
2	あなたはこの授業で出された宿題や課題を自分の力でこなすことができましたか。	3.66	71.7%	23.4%	4.3%	0.6%	3.58	65.9%	26.9%	6.5%	0.7%
3	あなたはこの授業でわからない点があっても、先生に質問するなどしてわかる努力をしましたか。	3.40	58.1%	27.9%	10.3%	3.7%	3.23	46.4%	34.3%	15.2%	4.2%
教員に対する授業評価		授業評価平均値: 3.72 (昨年 3.55)					授業評価平均値: 3.68 (昨年 3.45)				
4	担当の先生は、授業の開始の時刻と終了の時刻を守っていましたか。	3.73	79.2%	16.0%	3.2%	1.6%	3.62	71.4%	21.0%	5.4%	2.2%
5	担当の先生は、授業のねらいをはっきりと示し、テーマに沿って授業を展開していましたか。	3.74	78.6%	17.6%	3.0%	0.8%	3.72	76.4%	20.6%	2.1%	0.9%
6	担当の先生の説明は、ていねいでわかりやすかったですか。	3.64	72.2%	20.6%	5.8%	1.4%	3.65	71.1%	25.0%	2.2%	1.8%
7	担当の先生は、生徒に対して公平に接していましたか。	3.67	75.9%	17.7%	4.4%	2.0%	3.59	69.1%	23.8%	4.3%	2.7%
8	担当の先生は、熱意をもって授業にのぞんでいるように感じましたか。	3.73	77.7%	18.2%	3.2%	1.0%	3.68	73.5%	22.3%	2.9%	1.3%
9	板書の文字や図は、授業の要点をうまくまとめ、みやすかったですか。	3.64	73.1%	19.5%	5.6%	1.8%	3.66	72.7%	22.4%	3.4%	1.5%
	△担当の先生は、危機管理に気を配り、生徒一人ひとりの安全に対して配慮していましたか。	3.82	86.0%	11.2%	1.8%	1.0%	3.84	84.4%	14.9%	0.6%	0.0%
10	担当の先生は、授業中の質問に対して適切に応えていましたか。	3.74	79.2%	16.4%	3.3%	1.0%	3.68	73.3%	22.5%	3.1%	1.1%
11	担当の先生は、生徒が個別に質問や相談に行っても、適切に対応してくれましたか。	3.73	77.0%	19.5%	2.8%	0.7%	3.66	72.5%	22.5%	3.5%	1.4%
	△担当の先生は、自ら模範演技を見せたり、生徒の優れた作品などを見せていましたか。	3.81	83.4%	14.5%	1.4%	0.6%	3.77	79.2%	18.8%	1.3%	0.6%
12	担当の先生は、私語をする生徒には注意をし、寝ている生徒は起こすなど、毅然と接していましたか。	3.71	76.1%	19.4%	3.6%	0.7%	3.61	69.4%	24.0%	4.8%	1.8%
	△担当の先生は、集中しない生徒、勝手な行動をする生徒などに対して毅然と指導していましたか。	3.83	84.9%	13.4%	1.5%	1.0%	3.86	88.3%	9.1%	2.6%	0.0%
13	担当の先生は、生徒に質問や発言を促し、参加・対話型の授業になっていましたか。	3.68	75.0%	19.0%	4.7%	1.3%	3.62	70.8%	22.5%	4.4%	2.3%
	△担当の先生は、一人ひとりの理解に応じて個別に対応するような指導をしていましたか。	3.78	81.4%	15.7%	2.2%	0.8%	3.64	68.2%	27.9%	3.9%	0.0%
14	授業のスピードや難易度については適度に感じましたか。	3.52	65.2%	24.4%	8.0%	2.5%	3.55	65.3%	26.4%	6.3%	2.1%
	△担当の先生は、グラウンドの整備、教室の美化などについて気を配っていましたか。	3.80	83.2%	14.3%	2.2%	0.4%	3.75	76.6%	22.1%	1.3%	0.0%
15	あなたはこの授業でその科目の知識や考え方を培い、学力向上の役に立ったと感じますか。	3.61	70.0%	22.6%	5.4%	2.0%	3.61	69.3%	24.6%	3.5%	2.5%
	△あなたはこの授業に出て、その科目の技術の習得向上に役に立ったと感じますか。	3.81	83.2%	14.6%	1.9%	0.3%	3.71	74.5%	22.2%	2.6%	0.7%
16	総合的に判断して、この担当の先生の授業に対する満足度はどのくらいですか。	3.64	71.6%	22.3%	4.6%	1.5%	3.64	72.0%	21.9%	4.2%	1.9%